

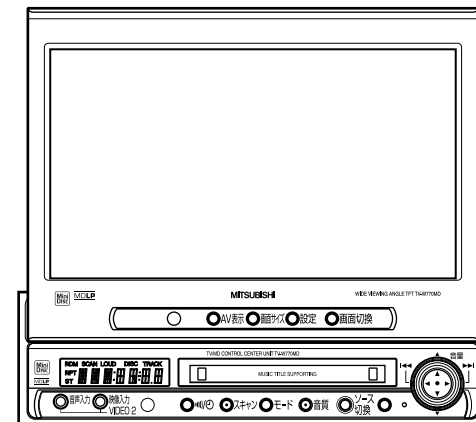
MITSUBISHI

HDD NAVIGATION SYSTEM
CU-H9700 series

HDD NAVIGATION SYSTEM
CU-H9700 series

← TV/MD CENTER UNIT TV/MD CENTER UNIT TV/MD CENTER

TV/MD CENTER



TV/MDセンターユニット部取扱説明書

Mini Disc **MDLP**

 三菱電機株式会社

〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3 (東京ビル)
N871L59683 05-05

この度は本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
 この製品の機能を十分に活かして正しくお使いいただくために、また安全運転のため、ご使用前に「取扱説明書」・「取付要領書」をよくお読みの上、正しくお使いください。
 「取扱説明書」はお読みになったあと、「保証書」・「お客様相談窓口一覧表」と共にいつでも見られるところに大切に保管し、わからないことや不具合が生じたときにもう一度ごらんください。
 本製品を譲られるときは、次に所有される方のために本製品に、本取扱説明書を付けてお譲りください。

もくじ

お客様へ安全上のご注意	3	グループリピート	31
ご注意とお願ひ	8	ディスクランダム	31
本書 (TV/MD センターユニット部取扱説明書) の見かた	9	グループランダム	31
はじめに	10	ディスクスキャン	32
本機 (TV/MD センターユニット) の名称とはたらき	10	グループスキャン	32
・モニター部 収納状態	10	テレビ/ビデオを見る	33
・モニター部 立ち上げ状態	12	テレビ/ビデオを見る	33
・本機の取り扱い上のご注意	13	・音声多重チャンネルの音声を切り換える	33
モニター部の立ち上げ、収納について	14	放送局を登録する	34
・モニター部の立ち上げかた	14	・放送局を自動的に登録する (オートメモリー)	34
・モニター部の収納のしかた	14	登録された放送局の呼び出し方	35
・モニター部の角度調整のしかた	14	・1局ずつ順に呼び出すには	35
・モニター部を一時的に前に倒すには	15	・スキャン機能を使用して呼び出すには	35
・モニター部を自動的に後ろに下げるには	15	・リスト画面から呼び出すには	35
外部入出力端子 (本機背面)	15	ビデオ映像の見かた	36
リモコンについて	16	画面サイズ (モード) を切り換える	36
各リモコンの電池交換について	16	画質を調整する	37
・電池の交換について	16	携帯オーディオの音楽を聴く	37
ドラゴン (ドライビングリモコン) について	17	携帯オーディオの音楽を聴くには	37
・ドラゴンの操作について	17	ナビゲーションの操作	38
・ドラゴンキーの名称とはたらき	17	ナビゲーション画面を表示する	38
・ドラゴンキーと本機の対応について	17	ナビゲーションの案内音声について	38
リモコンについて	18	ナビゲーションの AV 操作について	38
・リモコンキーの名称とはたらき	18	その他の機能	39
・リモコンキーと本機の対応について	20	バックカメラの映像について	39
・リモコンの操作方法	21	後席モニターの映像について	39
・操作・機能一覧	22	各種設定	40
共通操作	24	機能設定画面を表示する	40
ナビゲーションの設定について	24	システム設定	40
電源を入れるには	24	・システム設定のしかた	40
電源を切るには	24	・Video1/2 外部入力	40
ソースを切り換えるには	24	・AV 情報表示	40
音量 / 音質の調整	25	・NAVI ガイド	41
・音量を調整する	25	・操作音	41
・音質を調整する	25	・ボタン照明	41
・音にメリハリをつける (ラウドネス)	25	モニタ設定	42
交通情報を聞く	26	・モニタ設定のしかた	42
時刻を表示する	26	・オートディマー	42
ラジオを聴く	27	・イルミ連動	42
ラジオを聴く	27	・バック連動	42
放送局を登録する	27	・オートオープン/クローズ	42
・放送局を自動的に登録する (オートメモリー)	27	・セットバック	42
登録された放送局の呼び出しかた	28	時計設定	43
・1局ずつ順に呼び出すには	28	放送局名変更 (受信チャンネル変更)	44
・スキャン機能を使用して呼び出すには	28	ご参考までに	45
・リスト画面から呼び出すには	28	リセットについて	45
MD を聴く	29	・リセットについて	45
MD を再生する	29	・リセットのしかた	45
MD の再生を終了する	29	・リセットされる項目	45
グループ設定された MD を再生する	30	MD ディスクの取り扱いについて	46
・グループ機能について	30	故障かな?と思ったら	47
・グループ設定された MD の再生のしかた	30	索引	50
リスト画面を使って選曲する	30	索引	50
MD のいろいろな再生について	31	定格・保証	51
・再生モードの選択	31	定格	51
・トラックリピート	31	保証について	53

お客様へ安全上のご注意

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示とともに、取り扱い上の注意点を記載しています。
 絵表示は次のような意味を示しています。

警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

このような絵表示は、注意 (警告を含む) しなければならない内容です。

このような絵表示は、禁止 (やってはいけないこと) の内容です。

この絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

警告

運転者は運転中に、画像を注視しない。
 前方不注意となり事故の原因となります。
 道路交通法により、運転者が走行中に画面を注視することは禁止されています。
 ※ハンドルリモコンで操作する場合も、画面を注視しないでください。

運転者は走行中に複雑な操作をしない。
 運転中に複雑な操作をすると、前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。

ナビゲーションによるルート案内時も、実際の交通規制に従って走行する。
 ナビゲーションによるルート案内のみに従って走行すると実際の交通規制に反する場合があります、交通事故の原因となります。

運転者がテレビやビデオを見るときは必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキをかけて使用する。
 テレビやビデオは安全のため走行中は表示されません。

画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しない。
 事故、火災、感電の原因となります。

本機を分解したり、改造しない。
 故障、火災、感電の原因となります。

本機はDC12V マイナス ⊖ アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車での使用はしない。

火災や故障の原因となります。



禁止

機器内部に水や異物を入れない。

発煙、発火、感電、故障の原因となります。



禁止

万一、異物が入った、水がかかった、煙がでる、変な匂いがするなど異常が起これば、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店か弊社代理店に相談する。

そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。



必ず行う

リモコンを放置しない。

停車したときやカーブを曲がるときに、リモコンが足元に転がり、ブレーキペダルなどの下に入り込むと運転の妨げとなり交通事故の原因となります。



禁止

ヒューズを交換する時は、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用する。

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。



必ず行う

雷が鳴りだしたら、アンテナ線やテレビに触れない。

落雷により感電の原因となります。



接触禁止

ディスク挿入口に異物を入れない。

火災や感電、故障の原因となります。



禁止

⚠️ 注意

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用してください。

車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。



注意

テレビ、ディスプレイなどの収納や角度調整時に、手や指を挟まれないようにご注意ください。

けがの原因となることがあります。



指に注意

ディスク挿入口に手や指を入れないでください。

けがの原因となることがあります。



指に注意

テレビ、ディスプレイなどの立ち上げ収納が、シフトレバー操作などの妨げになる場合は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。



必ず行う

本機の通風孔や放熱板をふさがないようにください。

通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、発火や故障の原因となることがあります。



禁止

リモコンは直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。

ケースの変形、内部電池の破裂、液もれの原因となることがあります。



必ず行う

取り付け・配線時などのご注意

⚠️ 警告

取り付け作業前には、バッテリーのマイナス ⊖ 端子を外す。

ショート事故による感電やけがの原因となります。



必ず行う

本機を、前方の視界を妨げる場所や、ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所などには絶対に取り付けない。

交通事故やけがの原因となります。



禁止

エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に本機取り付けと配線をしない。

エアバッグ動作を妨げる場所に取り付け・配線すると交通事故の際、エアバッグシステムが正常に動作しない原因となり危険です。



禁止

電源コードの被膜を切って、他の機器の電源を取ることは絶対に止める。

電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。



禁止

車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触しないよう注意して行う。

誤った穴開けをすると火災の原因となります。



注意

車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースを取る場合、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しない。これらを使用しますと制動不能や発火、事故の原因となります。



禁止

コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておく。

ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。



必ず行う

取り付けと配線が終わったら、ブレーキやライト、ホーン、ウインカーなどの電装品が元通り、正常に動作することを確認する。

正常に動作しない状態で使用すると火災や感電、事故の原因となります。



必ず行う

必ず、パーキングブレーキ線を接続する。(安全機能)

走行中はテレビ、ビデオの画像が表示されず、音声のみとなります。また、画面を注視する必要がある複雑な機能は操作できないようになっています。なお、停車状態でもサイドブレーキを引かないと映像は表示されません。



必ず行う

⚠ 注意

落下させたり、強い衝撃を与えないでください。

機器の故障、けがなどの原因になることがあります。付属のネジなどでしっかりと固定してください。



必ず行う

本機の取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。

誤った配線をした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。



必ず行う

必ず付属の部品を指定通り使用してください。

指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れるなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。



必ず行う

取付要領書で指定された通りに接続してください。

正規の接続を行わないと、火災や事故の原因になることがあります。



必ず行う

エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。

エアバッグが誤作動する原因となる場合があります。



必ず行う

本機の取り付け場所変更時は安全のため必ずお買い上げの販売店へ依頼してください。取り外し、取り付けには専門技術が必要です。



必ず行う

車体やねじ部分、シートレール等の可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください。

断線やショートにより、事故や感電、火災の原因になることがあります。



注意

コード類の配線は、高温部を避けて行ってください。

コード類が車体の高温部に接触すると被膜が破れショートし、火災、感電の原因になることがあります。



注意

雨、水の車内への浸入を防ぐため、アンテナコードの車内への引き込みには十分気をつけて行ってください。

車内に浸水すると、火災、感電の原因になることがあります。



注意

他の機器と接続する場合は

各機器の取扱説明書も併せてよくお読みのうえ、正しくお使いください。

携帯電話を使用する場合は

携帯電話を置く位置や向きによっては、雑音が生じることがあります。できるだけ本機から離してお使いください。

乾電池に関するご注意

⚠ 警告

事故防止のため、電池は幼児の手の届かないところに保管する。

万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師の治療を受けてください。
(ボタン電池)

⚠ 注意

指定以外の電池は使用しないでください。また新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。

電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚染する原因となります。



禁止

電池を機器内に挿入する場合は、極性 +・- に注意し、表示通りに入れてください。電池の極性を間違えると破裂、液漏れにより、けがや周囲を汚染する原因となることがあります。



必ず行う

電池をショートさせたり、分解や加熱をしたり、火や水の中に入れてください。電池の破裂、液漏れにより火災やけがの原因となることがあります。



禁止

乾電池は充電しないでください。

電池の破裂により、けがの原因となることがあります。



禁止

アルカリ乾電池のアルカリ性溶液が皮膚や衣服に付着したときは、きれいな水で洗い流し、また眼に入ったときは、きれいな水で洗った後ただちに医師の治療を受けてください。



必ず行う

リチウム乾電池を廃棄する場合は、+・- 端子に絶縁性テープを貼るなどして絶縁状態にしてから「所在自治体の指示」に従って廃棄してください。

他の金属片等、導電性のあるものと一緒廃棄したりするとショートして、発火、破裂の原因となることがあります。



必ず行う

携帯電話に関するご注意

⚠ 警告

運転者は運転中に携帯電話を手を持って使用しない。

走行中に携帯電話を手を持って使用することは法律で禁止されています。また、事故の原因になります。



禁止

携帯電話を放置しない。

停車したときやカーブを曲がるときに、携帯電話が足元に転がり、ブレーキペダルなどの下に入り込むと運転の妨げとなり交通事故の原因となります。



禁止

あまったコード類は運転の妨げとならないようテープなどでまとめておく。

ステアリングやシフトレバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。



必ず行う

ご使用になる前に、安全な場所に停車した状態で、着信音量、通話音量の確認を行なってください。けがの原因となることがあります。

ナビメニューのシステム設定、モニター音量の設定を行ない適度な音量にてご使用ください。音量が大きすぎたり、小さすぎたりすると運転中の意識がそれ、事故の原因となり危険です。



必ず行う

ご注意とお願い

免責事項について

- ・ 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 本機の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 仕様および外観は改良のため予告なく変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。
- ・ 本機に添付の保証書は当該機器を業務用の車両（バス・タクシー・商用車など）に使用した場合、適用対象にはなりません。

携帯電話や無線機について

- ・ 本機の近くで携帯電話や無線機を使用すると画面が乱れたり、内蔵スピーカーからの音声にノイズが入ることがあります。携帯電話や無線機の電源を切るか、本機から遠ざけてご使用ください。

液晶画面について

- 本機を使用中に次のような現象が起きることがあります。
- ・ 液晶画面は正面からが一番きれいに見えます。画面を見る角度によって色が濃くなったり白っぽくなったりして見えることがあります。
 - ・ 液晶画面に薄い横じまが見えたり、残像（前に映っていた像が薄く残ること）があります。
 - ・ 液晶画面の中に小さな黒い点や白く光る点（輝点）が出る場合があります。これは液晶パネル特有の現象で故障ではありません。
 - ・ 寒いところでお使いになるときは、電源を入れた後、しばらく画面が暗いことがあります。時間がたつと正常な明るさに戻ります。
 - ・ 液晶画面に直射日光が当たると光が反射して映像が見にくくなりますので直射日光をさえぎってください。
 - ・ 液晶画面照明に使用している小型冷陰極管には、寿命があります。（寒いところで使用すると寿命が短くなる場合があります。）

- ・ 画面がチラついたり、暗くなってきたときはお買い上げ店、または別紙サービス相談窓口一覧表のサービス店にご相談ください。
- ・ 液晶画面に付いたホコリや汚れを掃除する場合は電源を切ってから乾いたやわらかい布で拭き取ってください。
- ・ 液晶画面を拭くときは、ツメなどでズツかないように注意してください。また、ぬれたぞうきんやベンジン、シンナーなど揮発性の薬品は使わないでください。

高温検知について

- ・ 本機は異常高温検知機能を搭載しています。モニター部の温度が規定以上に上昇した場合は、「高温異常です。画面を消します」のメッセージが表示され約7秒後に自動的に画面が消えます。本機のいずれかのボタンを押すと復帰しますが繰り返し発生する場合は、以下の内容をご確認ください。

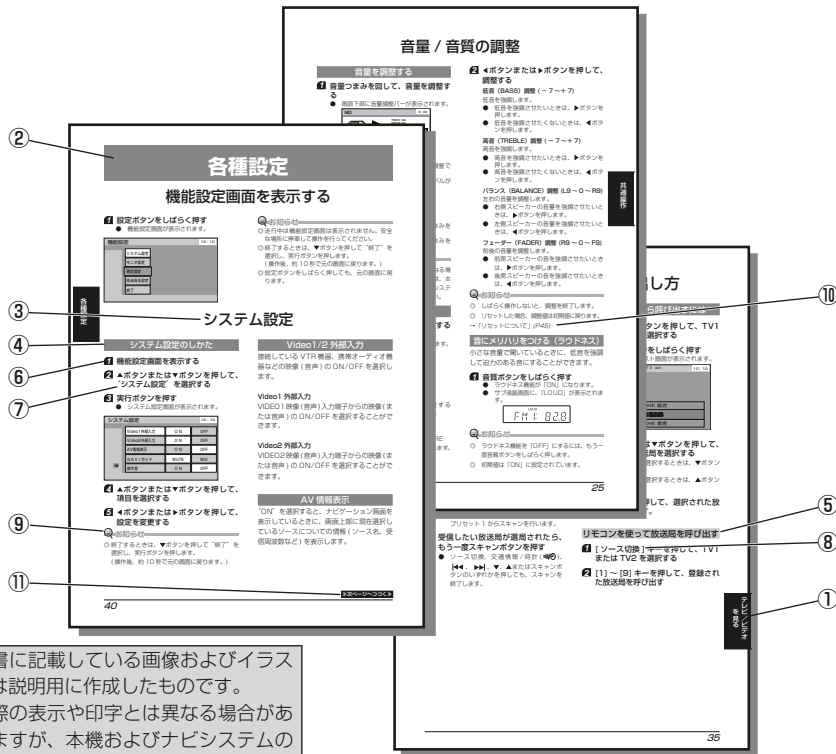
◎炎天下の直射日光によりモニター部が熱くなっていますか？
↓
モニター部を冷却してください。

◎モニター部をエアコンの吹き出し口付近（熱風が吹きかかる場所）に取り付けていませんか？
↓
本機取り付け位置を再度ご確認ください。

上記の処置で症状が改善されない場合は機器の故障が考えられます。ただちに使用を中止し、お買い上げの店、または別紙サービス相談窓口一覧表のサービス店にご相談ください。

本書 (TV/MD センターユニット部取扱説明書) の見かた

本書で使用している表記と意味は以下のとおりです。また、本書ではTV/MD センターユニットを「本機」と記載しています。



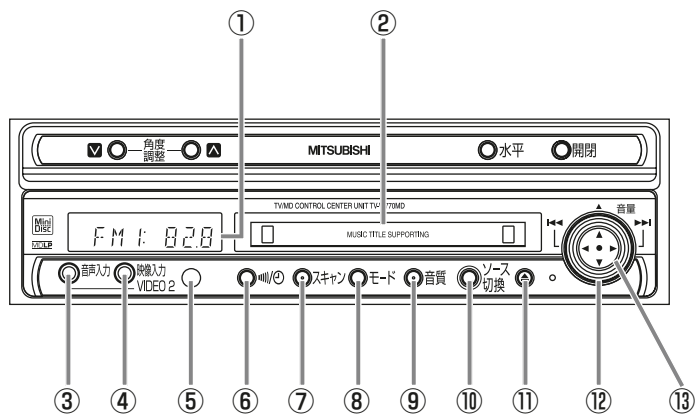
本書に記載している画像およびイラストは説明用に作成したものです。実際の表示や印字とは異なる場合がありますが、本機およびナビシステムの故障ではありません。

表記	意味
① 章インデックス	主な機能をこのインデックスで確認することができます。
② 章見出し	各章の先頭に記載しています。
③ 大見出し	章分類の中で主な操作や機能を分類しています。
④ 中見出し	大見出しの中で分けられた操作や機能をこまかく分類しています。
⑤ 小見出し	中見出しの中で分けられた操作や機能をさらにこまかく分類しています。
⑥ ①	操作手順を示す番号です。この番号の順序に従い操作してください。
⑦ " "	画面上に表示される選択項目を示します。
⑧ []	リモコンでの操作キーを示します。
⑨ ⑨お知らせ	知っている便利な情報や注意していただきたい点などを記載しています。
⑩ → [***] (P000)	参照するページを示します。関連する説明などが記載されています。
⑪ ≫次ページへつづく≫	操作の説明に続きがある場合に記載しています。

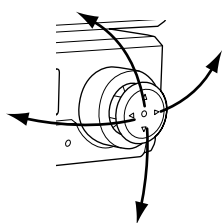
はじめに

本機 (TV/MD センターユニット) の名称とはたらき

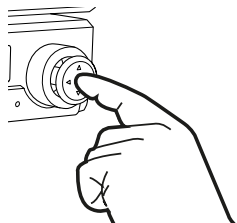
モニター部 収納状態



⑩ ジョイスティックの操作について



左に傾けると◀◀、◀ボタンを押す操作になります。
右に傾けると▶、▶▶ボタンを押す操作になります。
上に傾けると▲ボタンを押す操作になります。
下に傾けると▼ボタンを押す操作になります。



まっすぐな状態で押すと、実行ボタンを押す操作になります。

マークの説明

FM AM TV

ソースがFM1、FM2、AM、TV1、TV2のときの動作を説明しています。

MD

ソースがMDのときの動作を説明しています。

マーク無しは、共通の動作を説明しています。

- ① サブ液晶画面 受信周波数(またはチャンネル)、ディスクのトラックNo.などを表示します。
- ② MD挿入口 MDを挿入します。
→「MDを聴く」(P29)
- ③ 音声入力端子 車載用VTR機器、携帯オーディオなどの音声信号入力用ジャック<ミニジャック>です。ここに接続した音声はVIDEO2のソースとなります。
→「携帯オーディオの音楽を聴く」(P37)
- ④ 映像入力端子 車載用VTR機器などの映像信号入力用ジャックです。ここに接続した映像はVIDEO2のソースとなります。
→「ビデオ映像の見かた」(P36)
- ⑤ リモコン受光部 当社製ナビゲーションシステムのリモコンを使用するとき、リモコンからの信号をここで受信します。
- ⑥ 交通情報/時計 (M)/(C) ボタン 押すと、交通情報を受信します。しばらく押すと、サブ液晶画面に現在時刻が表示されます。
→「交通情報を聞く」「時刻を表示する」(P26)

⑦ スキャンボタン

FM AM TV

押すと、登録された放送局(周波数)を順に呼び出し、5秒ずつ受信します。
→「スキャン機能を使用して呼び出すには」(P28、35)

しばらく押すと放送局(周波数)の登録(オートメモリー)を開始します。
→「放送局を自動的に登録する(オートメモリー)」(P27、34)

MD

押すと、ディスク内の曲(トラック)を順に呼び出し、10秒ずつ再生します。しばらく押すと、各グループの先頭の曲(トラック)を順に呼び出し、10秒ずつ再生します。
→「ディスクスキャン」「グループスキャン」(P32)

⑧ モードボタン

FM AM TV

テレビ受信中に押すと音声モードが切り換わります。
→「音声多重チャンネルの音声を切り換える」(P33)

MD

押すと、再生モードが切り換わります。→「再生モードの選択」(P31)

- ⑨ 音質ボタン 音質調整するとき 사용됩니다。しばらく押すと、LOUDNESSのON/OFFが切り換わります。
→「音質を調整する」「音にメリハリをつける(Loudness)」(P25)

- ⑩ ソース切換ボタン (電源ボタン) 押すと、ソースが切り換わります。しばらく押すと、ソースがOFFになり、時計表示になります。もう一度押すと、OFFにする前のソースに戻ります。
→「電源を入れるには」(P24)

- ⑪ MD取出しボタン MDを取り出します。
→「MDの再生を終了する」(P29)

- ⑫ 音量つまみ 音量を調整します。
→「音量を調整する」(P25)

- ⑬ ジョイスティック 機能設定画面およびリスト画面表示中の項目選択に使用します。

- 実行ボタン 機能設定画面およびリスト画面表示中の項目を決定する時に使用します。

- ▲、▼ ボタン

FM AM TV

押すと、登録された放送局が選局できます。
→「1局ずつ順に呼び出すには」(P28、35)

MD

押すと、グループが選択できます。
→「グループ設定されたMDの再生のしかた」(P30)

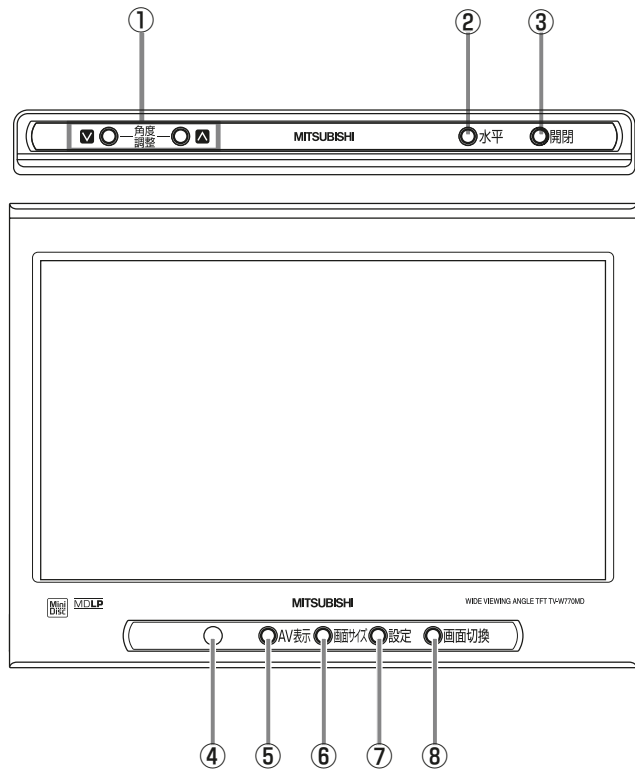
- ◀◀ ▶▶ ボタン

FM AM TV

押すと、周波数(またはチャンネル)が1ステップずつ変化します。しばらく押して離すと、受信状態の良い放送局を自動的に受信します。
→「ラジオを聴く」(P27)
→「テレビ/ビデオを見る」(P33)

MD

押すと、次の曲(トラック)または前の曲(トラック)を呼び出します。しばらく押すと、早送りまたは早戻しします。
→「MDを再生する」(P29)



マークの説明

- FM AM TV** ソースがFM1、FM2、AM、TV1、TV2のときの動作を説明しています。
- MD** ソースがMDのときの動作を説明しています。
- マーク無しは、共通の動作を説明しています。

- ① 角度調整ボタン 画面の角度を調整します。▲ボタンを押すと画面が上向きになります。▼ボタンを押すと画面が下向きになります。
→「モニター部の角度調整のしかた」(P14)
- ② 水平ボタン 立ち上げたモニターの背後にある車両スイッチなどを操作するために、一時的にモニター部を手前に倒します。もう一度押すと元に戻ります。
→「モニター部を一時的に前に倒すには」(P15)

- ③ 開閉ボタン モニター部収納時に押すと、モニター部が立ち上がります。モニター部が立ち上がっているとき、または水平状態のときに押すと、モニター部が収納されます。
→「モニター部の立ち上げかた」(P14)

- ④ ディマーセンサー 周囲の明るさを検知し、画面の明るさを自動調光します。自動調光の切り換えはモニター設定画面の「オートディマー」で行います。
→「オートディマー」(P42)

»次ページへつづく«

⑤ AV表示ボタン

FM AM TV テレビを受信しているとき、またはビデオを見ているときに押すと、現在選択しているソースを表示します。しばらく押すと、放送局を選択するためのリスト画面を表示します。
→「リスト画面から呼び出すには」(P28、35)

MD しばらく押すと、曲(トラック)またはグループを選択するためのリスト画面を表示します。
→「リスト画面を使って選曲する」(P30)

- ⑥ 画面サイズボタン テレビを受信しているとき、またはビデオを見ているときに押すと、画面サイズが切り換わります。
→「画面サイズ(モード)を切り換える」(P36)

- ⑦ 設定ボタン 画質調整するときに使用します。
→「画質を調整する」(P37)
しばらく押すと、機能設定画面が表示されます。
→「システム設定のしかた」(P40)

- ⑧ 画面切換ボタン ナビゲーション画像とソース画面を切り換えるときに使用します。
→「ナビゲーション画面を表示する」(P38)

●ナビゲーション接続時、ナビゲーションのオープニング画面表示中に動作しない機能があります。オープニング画面終了後、操作してください。

本機の取り扱い上のご注意

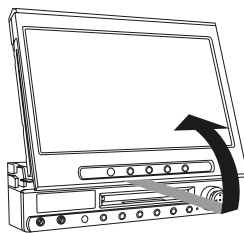
- 本機は以下の温度範囲内でお使いください。
使用温度範囲：-10℃～+55℃
保存温度範囲：-20℃～+80℃
- 直射日光の当たる状態で長時間使用すると、高温になり、液晶画面が故障する恐れがあります。できる限りモニター部に直射日光が当たらないようにしてください。また、本機を使用しないときは、できるだけ本体にモニター部を収納してください。
- モニター部の液晶画面は、車内での視認性向上のために露出しています。故障する恐れがありますので、液晶画面を強く押さないでください。
- モニター部を立ち上げたときにモニター部の上に物を置いたり、モニター部の立ち上げ、収納、または角度調整を手でつかんで行わないでください。モニター部に強い力が加わると故障する恐れがあります。
- モニター部を立ち上げたときに、モニター部がエアコンの吹き出し口の近くになる場合は、エアコンの風がモニター部に当たらないようにしてください。ヒーターの熱でモニター部が壊れたり、クーラーの冷気でモニター部内部に水滴がついて故障する恐れがあります。
- モニター部の立ち上げや収納のときに、物をはさまないように注意してください。物がはさまると、モニター部が動かなくなることがあります。モニター部が動かなくなったときは、はさまった物を取り除いてもう一度開閉ボタンを押してください。
- エアバックなどの安全装置装着車の場合は、安全装置の作動に支障のないようにご注意ください。

モニター部の立ち上げ、収納について

モニター部の立ち上げかた

エンジンスイッチを ON または ACC にすると、モニター部が自動的に立ち上がります。

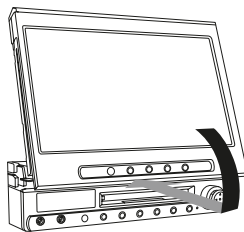
- モニタ設定画面の「オートオープン/クローズ」の設定が「MANUAL」になっている場合、モニター部は自動的に立ち上がりません。モニター部を立ち上げるときは、開閉ボタンを押してください。
→「オートオープン/クローズ」(P42)
- モニター部収納後にエンジンスイッチを OFF にした場合、もう一度エンジンスイッチを ON にしても、モニター部は自動的に立ち上がりません。モニター部を立ち上げるときは、開閉ボタンを押してください。
→「オートオープン/クローズ」(P42)



モニター部の収納のしかた

エンジンスイッチを OFF にすると、約 6 秒後にモニター部が自動的に収納されます。

- モニタ設定画面の「オートオープン/クローズ」の設定が「MANUAL」になっている場合は、モニター部は自動的に収納されません。モニター部を収納するときは、開閉ボタンを押してください。
→「オートオープン/クローズ」(P42)



お知らせ

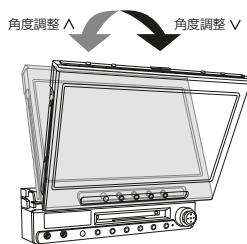
モニター部が完全に収納されたことを確認してください。モニター部が途中で止まったときは、そのままの状態にしておかないでください。故障の原因になることがあります。

モニター部の角度調整のしかた

画面を見やすい角度に調整できます。一度調整すれば、次回から同じ角度で立ち上がります。

1 モニター部が立ち上がった状態で、モニター部の角度調整 ▲または▼ボタンを押して角度を調整する

- 角度調整 ▲ボタンを押すと、画面が上向きになります。
- 角度調整 ▼ボタンを押すと、画面が下向きになります。
- ボタンを押している間、モニター部が動きます。
- モニター角度は水平面より 50° ~ 110° の範囲で調整できます。

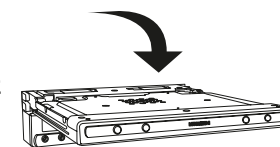


お知らせ

モニター部を手で開閉したり角度調整をするなど、強い力を加えないでください。故障の原因になることがあります。

モニター部を一時的に前に倒すには

立ち上げたモニター部の背後にある車両スイッチなどを操作するために、一時的にモニター部を手前に倒すことができます。



1 モニター部が立ち上がった状態で、モニター部の水平ボタンを押す

- モニター部が手前に倒れます。
- 元に戻したいときは、もう一度モニター部の水平ボタンを押します。

お知らせ

- ◎ モニター部を立ち上がった状態に戻すとき、手などがはさまれないように注意してください。
- ◎ 手前に倒した状態でモニター部の上に物を乗せないでください。故障などの原因となる場合があります。

モニター部を自動的に後ろに下げるには

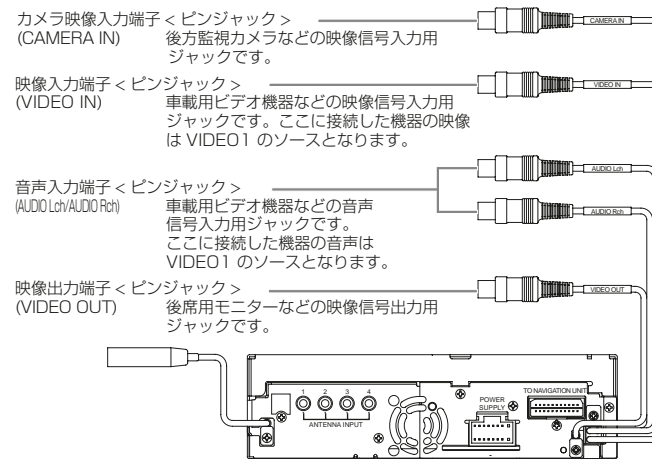
モニター部が立ち上がったあと、自動的に後ろに下げることができます。自動的に後ろに下げるには、あらかじめモニタ設定画面の「セットバック」の設定を「ON」にする必要があります。
→「セットバック」(P42)

お知らせ

- ◎ モニタ設定画面の「セットバック」の設定が「ON」になっているときは、モニター部が立ち上がったあと、自動的に後ろに下がります。手などがはさまれないように注意してください。

外部入出力端子（本機背面）

本機背面の入力端子、出力端子に外部機器を接続できます。詳しくは取付要領書の接続要領をご参照ください。



リモコンについて

各リモコンの電池交換について

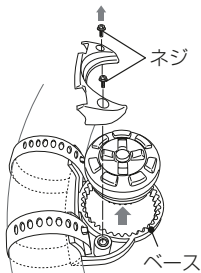
電池の交換について

●ドラコン (ドライビングリモコン) の電池交換について

リチウム電池記載の注意事項をよくお読みになった上、下記手順で電池の交換を行ってください。

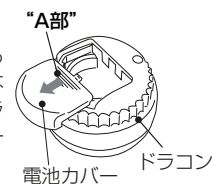
1 ベースからドラコンを外す

- 図に示すネジを外します。
- ベースからドラコンを取り外します。



2 電池カバーを外す

- ドラコンの裏面にある“A部”を少し押しながらか矢印の方向にスライドさせて電池カバーを外します。



●リモコンの電池交換について

初めてお使いになるときは、リモコンに付属の乾電池 (単4) 2 個を+、-の向きに注意して入れてください。また、乾電池が消耗したときは、市販の乾電池 (単4) 2 個をお買い求めください。

1 電池カバーを外す

- 電池カバーの“A部”を押しながらか矢印の方向へスライドさせて外します。



🔍お知らせ

すでに電池が入っている場合は、取り出してから電池を入れてください。
※ (+) プラス、(-) マイナスの方向を間違えないように注意してください。

3 電池カバーを取り付ける

- 外した逆の順序で元に戻します。

🔍お知らせ

リモコンの電池 (乾電池、リチウム電池) は液漏れ等の異常がないか、定期的に確認してください。

3 リチウム電池 (CR2032) を入れる

- 新しいリチウム電池を (+) プラス、(-) マイナスの方向確認の上、リモコンに入れます。



🔍お知らせ

- ◎ すでに電池が入っている場合は、取り出してから行ってください。
- ※ (+) プラス側が上になるように入れてください。

4 電池カバーを取り付ける

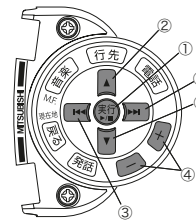
- 外した逆の順序で元に戻します。

ドラコン (ドライビングリモコン) について

ドラコンの操作について

ドラコンでテレビ、ラジオの選局、MDの選曲などが操作できます。

ドラコンキーの名称とはたらき



① [実行] (▶/■) キー

- **MD** 押すと、MDの再生を一時停止します。もう一度押すと、再生を始めます。
→「MDを聴く」(P29)

② [方向] (▲▼) キー

- **FM AM TV** 押すと、登録された放送局が選局できます。
→「1局ずつ順に呼び出すには」(P28、35)
- **MD** 押すと、グループが選択できます。
→「グループ設定されたMDを再生する」(P30)

③ [方向] (◀▶) キー

- **FM AM TV** 押すと、周波数 (またはチャンネル) が1ステップずつ変化します。しばらく押して離すと、受信状態の良い放送局を自動的に受信します。
→「ラジオを聴く」(P27)
→「テレビ/ビデオを見る」(P33)
- **MD** 押すと、次の曲 (トラック) または前の曲 (トラック) を呼び出します。しばらく押すと、早送りまたは早戻しします。
→「MDを再生する」(P29)

④ [+/-] (音量) キー

- 音量を調整します。(ナビゲーションシステムの音量調整はできません。)

FM AM TV ソースがFM1、FM2、AM、TV1、TV2のときの動作を説明しています。

MD ソースがMDのときの動作を説明しています。

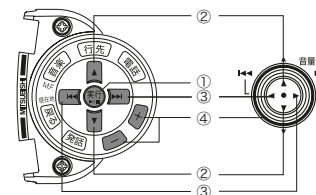
マーク無しは、共通の動作を説明しています。

🔍お知らせ

- ◎ ナビゲーション接続時、ナビゲーションのオープニング画面表示中には動作しない機能があります。オープニング画面終了後操作してください。

ドラコンキーと本機の対応について

ドラコンキーは、本機 (TV/MD センターユニット) のボタンに対応しています。



記載のイラストは説明用に作成しているため、実際のリモコンの印字 (一部) が省略されています。

	ドラコンキー	対応する本機のボタン
①	[実行] キー	対応するボタンなし
②	[方向] (▲) キー	ジョイスティック (▲) ボタン
	[方向] (▼) キー	ジョイスティック (▼) ボタン
③	[方向] (◀) キー	ジョイスティック (◀) ボタン
	[方向] (▶) キー	ジョイスティック (▶) ボタン
④	[+/-] (音量) キー	音量つまみ

リモコンについて

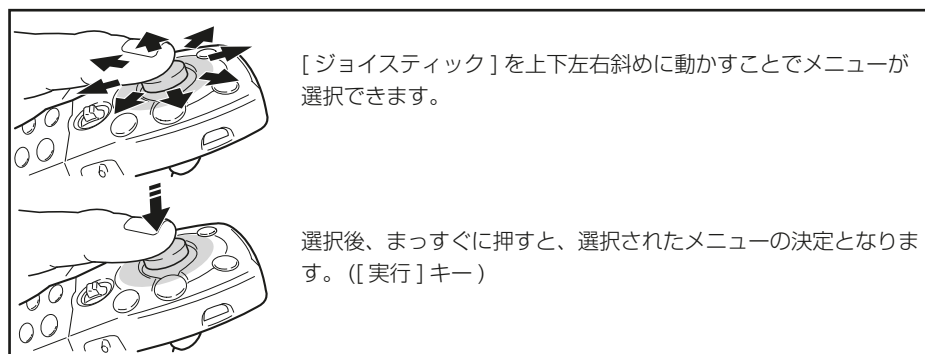
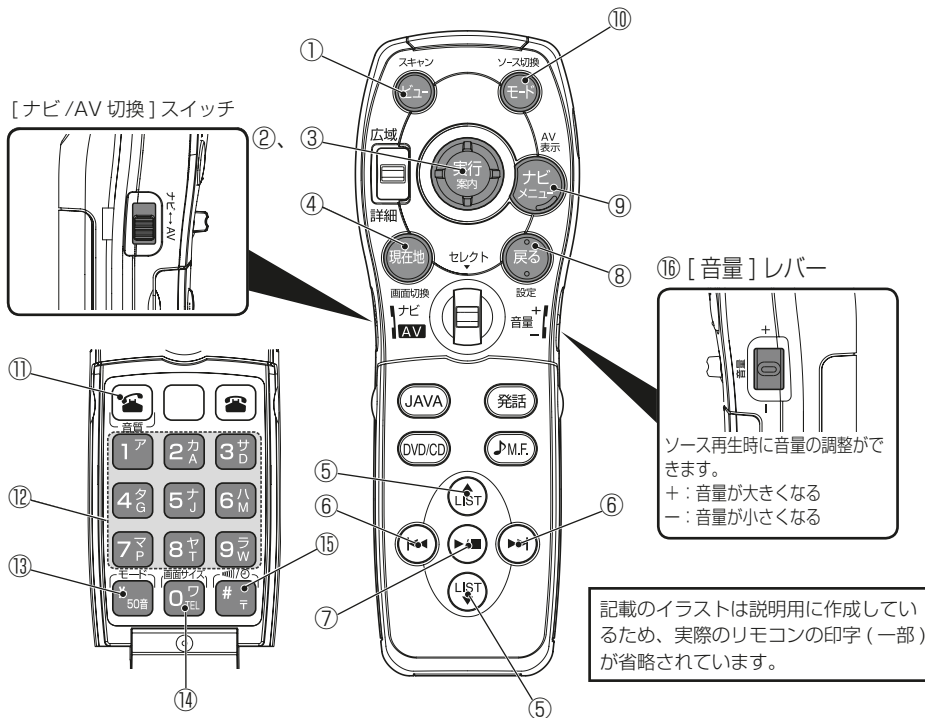
リモコンキーの名称とはたらき

リモコンで操作する場合のリモコンキーについて説明します。

お知らせ

◎ 本機 (TV/MD センターユニット) をリモコンで操作する場合は、必ず [ナビ / AV 切換] スイッチを AV 側に合わせてください。

◎ ここで説明する内容は、主に使用するキーの一例です。説明以外の用途で使用する場合もあります。



[ジョイスティック] を上下左右斜めに動かすことでメニューが選択できます。

選択後、まっすぐに押すと、選択されたメニューの決定となります。([実行] キー)

記載のイラストは説明用に作成しているため、実際のリモコンの印字 (一部) が省略されています。

マークの説明

- FM AM TV** ソースが FM1、FM2、AM、TV1、TV2 のときの動作を説明しています。
- MD** ソースが MD のときの動作を説明しています。

マーク無しは、共通の動作を説明しています。本機とリモコンボタンの対応については、「本機とリモコンキーの対応について」(P20) をご覧ください。

① [スキャン] キー

FM AM TV 押すと、記憶された放送局 (周波数) を順に呼び出し、5 秒ずつ受信します。しばらく押すと、放送局 (周波数) の登録 (オートメモリー) を開始します。

MD 押すと、ディスク内の曲 (トラック) を順に呼び出し、10 秒ずつ再生します。しばらく押すと、各グループの先頭の曲 (トラック) を順に呼び出し、10 秒ずつ再生します。

② ジョイスティック 機能設定画面およびリスト画面表示中の項目選択に使用します。

③ [実行] キー 機能設定画面およびリスト画面表示中の決定を行うときに使用します。

④ [画面切換] キー ナビゲーション画像とソース画面の切り換えに使用します。

⑤ [▲]、[▼] キー **FM AM TV** 押すと登録された放送局が選択できます。
MD 押すとグループが選択できます。

⑥ [◀◀]、[▶▶] キー **FM AM TV** 押すと、周波数 (またはチャンネル) が 1 ステップずつ変化します。しばらく押して離すと、受信状況の良い周波数 (またはチャンネル) で停止し、受信します。

MD 押すと、次の曲 (トラック) または前の曲 (トラック) を呼び出します。しばらく押すと、早送りまたは早戻しします。

⑦ [▶/■] キー **MD** 押すと、MD の再生を一時停止します。もう一度押すと、再生を始めます → 「MD を聴く」(P29)

⑧ [設定] キー 音質調整するときに使用します。しばらく押すと、機能設定画面が表示されます。

⑨ [AV 表示] キー

FM AM TV 押すと、現在選択しているモードを表示します。しばらく押すと、放送局を選択するためのリスト画面を表示します。

MD しばらく押すと、曲 (トラック) またはグループを選択するためのリスト画面を表示します。

⑩ [ソース切換] キー

押すと、ソースを切り換えます。しばらく押すと、ソースが OFF になり、時計表示になります。もう一度押すと、OFF にする前のソースに戻ります。

⑪ 音質キー 音質調整するときに使用します。しばらく押すと、ラウドネスの ON/OFF が切り換わります。

⑫ テンキー

FM AM TV 押すと、プリセットされた放送局をダイレクトに呼び出します。→ 「リモコンを使って放送局を呼び出す」(P28、P35) しばらく押すと、選択している放送局をプリセット登録します。→ 「リモコンを使って放送局を登録 (プリセット) する」(P28、P34)

⑬ [モード] キー

FM AM TV テレビを受信しているときに押すと、音声モードが切り換わります。
MD 押すと、再生モードが切り換わります。

⑭ [画面サイズ] キー

FM AM TV テレビを受信しているとき、またはビデオを見ているときに押すと、画面サイズが切り換わります。

⑮ [交通情報 / 時計 (M/T)] キー

押すと、交通情報を受信します。しばらく押すと、サブ液晶画面に現在時刻が表示されます。

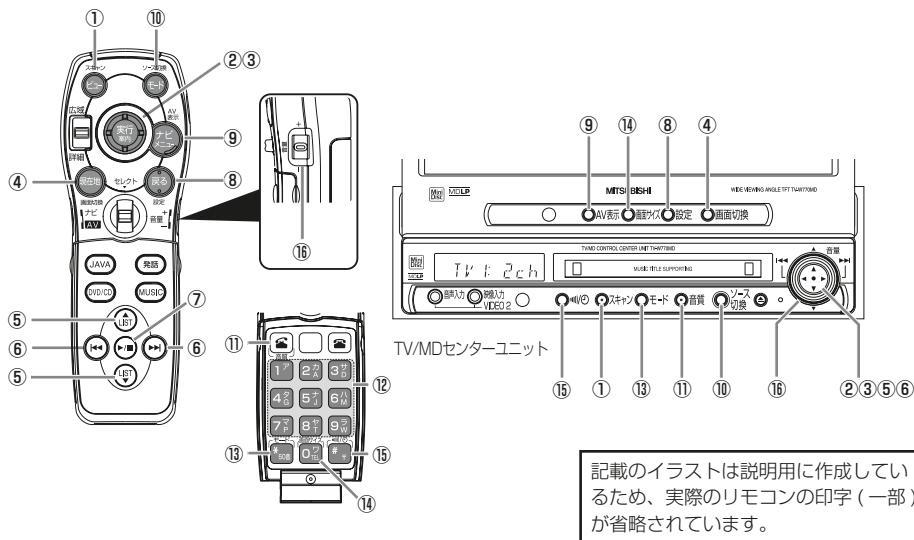
⑯ [音量レバー] 音量を調整します。

お知らせ

◎ ナビゲーション接続時、ナビゲーションのオープニング画面表示中に動作しない機能があります。オープニング画面終了後操作してください。

リモコンキーと本機の対応について

本取扱説明書では、本機(TV/MD センターユニット)のボタンを中心に説明しております。リモコンで操作する場合は下記対応表をごらんください。



記載のイラストは説明用に作成しているため、実際のリモコンの印字(一部)が省略されています。

	リモコンキー	対応する本機のボタン
①	[スキャン]キー	スキャン
②	ジョイスティック	ジョイスティック
③	[実行]キー	実行ボタン
④	[画面切換]キー	画面切換ボタン
⑤	[▲]キー	ジョイスティック ▲ボタン
	[▼]キー	ジョイスティック ▼ボタン
⑥	[◀◀]キー	ジョイスティック ◀◀ボタン
	[▶▶]キー	ジョイスティック ▶▶ボタン
⑦	[▶/■]キー	対応するボタンなし
⑧	[設定]キー	設定ボタン
⑨	[AV表示]キー	AV表示ボタン
⑩	[ソース切換]キー	ソース切換ボタン
⑪	[音質]キー	音質ボタン
⑫	テンキー	対応するボタンなし
⑬	[モード]キー	モードボタン
⑭	[画面サイズ]キー	画面サイズボタン
⑮	[交通情報/時計(📶/🕒)]キー	交通情報/時計(📶/🕒)ボタン
⑯	[音量]レバー	音量つまみ

リモコンの操作方法

リモコンの信号送信部を本機のリモコン受光部に向けて操作してください。本機の操作において一部使用しないボタンがあります。→「リモコンキーの名称とはたらき」(P18)

リモコンの操作範囲

本機のリモコン受光部に向け、正面で約3m以内のところから操作します。

リモコンを使用できる距離が短くなってきたら、2本とも新しい乾電池に交換してください。

リモコンの取り扱いについて

- リモコンを直接日光の当たるところに長時間放置しないでください。高温により変形や変色したり故障する恐れがあります。リモコンを使用しない場合は、グローブボックスなど直射日光の当たらないところに保管してください。
- リモコン受光部に直接日光があたると、リモコンの操作ができません場合があります。リモコン受光部に直接日光が当たらない状態で使用してください。
- リモコンを放置しないでください。停車したときやカーブを曲がる時にリモコンが足元に転がり、プレーキペダルなどの下に入り込むと運転の妨げになり交通事故の原因となります。操作時以外はリモコンホルダーに収めるなどの処置をしてください。
- 詳しくは、ナビゲーションの取扱説明書をごらんください。

センターユニット

ドラコン (ドライビングリモコン)

[実行] キー	再生/一時停止	MD	P29
[方向] (▲、▼) キー	放送局呼び出し	AM/FM/TV	P28,35
	グループ選択	MD	P30
[方向] (◀▶) キー	手動選局	AM/FM/TV	P27,33
	長押: 自動 (シーク) 選局	AM/FM/TV	P27,33
	トラック送り、トラック戻し	MD	P29
	長押: 早送り、早戻し	MD	P29
[+/-] キー	音量調整		P25

本体部

ソース切換ボタン	ソースの切換/電源ON/OFF		P24
ジョイスティック (実行) ボタン	メニュー、システム設定などの選択、実行		
ジョイスティック (▲、▼) ボタン	放送局呼び出し	AM/FM/TV	P28,35
	グループ選択	MD	P30
ジョイスティック (◀▶) ボタン	手動選局	AM/FM/TV	P27,33
	長押: 自動 (シーク) 選局	AM/FM/TV	P27,33
	トラック送り、トラック戻し	MD	P29
	長押: 早送り、早戻し	MD	P29
音量つまみ	音量調整		P25
音質ボタン	音質調整		P25
	長押: ラウドネスON/OFF		P25
モードボタン	音声モード (TV受信時) の切換	TV	P33
	再生モードの選択	MD	P31
スキャンボタン	放送局のスキャン	AM/FM/TV	P28,35
	長押: オートメモリー	AM/FM/TV	P27,34
	ディスクスキャン	MD	P32
	長押: グループスキャン	MD	P32
交通情報/時計 (📶) ボタン	交通情報を受信		P26
	長押: 時刻表示ON/OFF		P26
AV表示ボタン	ソースを表示	TV	P13
	長押: 選局のリスト画面表示	AM/FM/TV	P28,35
	長押: 選曲のリスト画面表示	MD	P30
画面サイズボタン	画面サイズの切換		P36
画面切換ボタン	ナビゲーションとソース画面の切換		P38
設定ボタン	画質調整		P37
長押: 機能設定画面	システム設定		P40
	Video1外部入力		P40
	Video2外部入力		P40
	AV情報表示		P40
	NAVIガイド		P41
	操作音		P41
	ボタン照明		P41
	モニタ設定		P42
	オートディママー		P42
	イルミ連動		P42
	バック連動		P42
	オートオープン/クローズ		P42
	セットバック		P42
	時計設定		P43
	放送局名変更		P44
リセット	システムリセット		P45

リモコン

[ソース切換] キー	ソースの切換/電源ON/OFF		P24
[実行] キー	メニュー、システム設定などの選択、実行		
[▲、▼] キー	放送局呼び出し	AM/FM/TV	P28,35
	グループ選択	MD	P30
[◀▶] キー	手動選局	AM/FM/TV	P27,33
	長押: 自動 (シーク) 選局	AM/FM/TV	P27,33
	トラック送り、トラック戻し	MD	P29
	長押: 早送り、早戻し	MD	P29
[音量]レバー	音量調整		P25
[音質] キー	音質調整		P25
	長押: ラウドネスON/OFF		P25
[モード] キー	音声モード (TV受信時) の切換	TV	P33
	再生モードの選択	MD	P31
[スキャン] キー	放送局のスキャン	AM/FM/TV	P28,35
	長押: オートメモリー	AM/FM/TV	P27,34
	ディスクスキャン	MD	P32
	長押: グループスキャン	MD	P32
[交通情報/時計 (📶)] キー	交通情報を受信		P26
	長押: 時刻表示ON/OFF		P26
[AV表示] キー	ソースを表示	TV	P13
	長押: 選局のリスト画面表示	AM/FM/TV	P28,35
	長押: 選曲のリスト画面表示	MD	P30
[画面サイズ] キー	画面サイズの切換		P36
[画面切換] キー	ナビゲーションとソース画面の切換		P38
[設定] キー	画質調整		P37
長押: 機能設定画面	システム設定		P40
	Video1外部入力		P40
	Video2外部入力		P40
	AV情報表示		P40
	NAVIガイド		P41
	操作音		P41
	ボタン照明		P41
	モニタ設定		P42
	オートディママー		P42
	イルミ連動		P42
	バック連動		P42
	オートオープン/クローズ		P42
	セットバック		P42
	時計設定		P43
	放送局名変更		P44
[▶/■] キー	再生、一時停止	MD	P29
デンキー	プリセットされた放送局の呼び出し	AM/FM/TV	P28,35
	長押: 放送局のプリセット登録	AM/FM/TV	P28,34

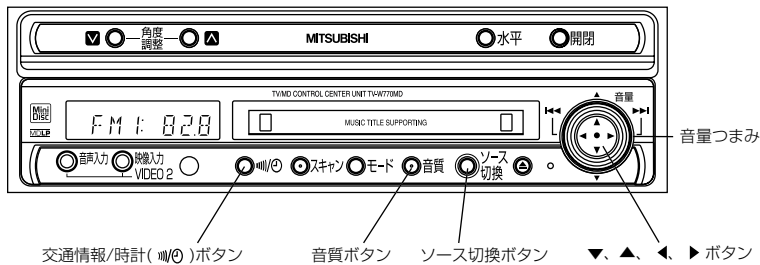
マークの説明

AM/FM/TV ソースがFM1、FM2、AM、TV1、TV2のときの動作を説明しています。

MD ソースがMDのときの動作を説明しています。

マーク無しは、共通の動作を説明しています。

共通操作



ナビゲーションの設定について

本機を接続する場合は、ナビゲーションを下記の手順で設定してください。

1 ナビゲーションで「モード」→「機能設定」→「AVの設定」→「モニタ選択」を選択します。

2 「モニタ選択」の画面で“Audio一体型”を選択します。

お知らせ

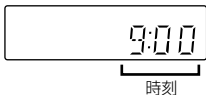
◎ 「AV 音声出力先」は“Audio一体型”を選択すると自動的に設定されます。詳しくはナビゲーションの取扱説明書をご参照ください。

電源を入れるには

本機の電源が OFF のときにソース切換ボタンを押すと、電源が ON になります。

電源を切るには

ソース切換ボタンをしばらく押すと、ソースが OFF になり、ナビゲーション画面が表示されます。このとき、サブ液晶画面には現在時刻が表示されます。

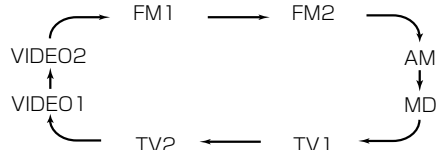


● もう一度ソース切換ボタンを押すと電源が ON になり、OFF にする前のソースに戻ります。

ソースを切り換えるには

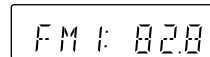
ソース切換ボタンを押すと、ソースが切り換わります。

● ソース切換ボタンを押すたびに、ソースは以下のように切り換わります。



● 「VIDEO1」、「VIDEO2」は、「Video1 外部入力」または「Video2 外部入力」の設定が「ON」になっている場合のみ選択できます。

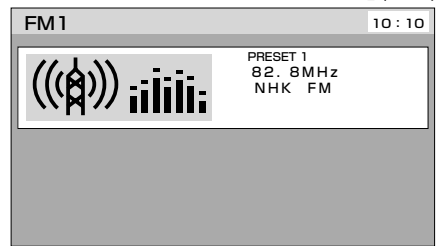
→ 「Video1/2 外部入力」(P40)
● サブ液晶画面に、選択したソース名が表示されます。



例) FM1 で 82.8MHz 受信時

● モニター部を立ち上げているときは、画面切換ボタンを押すことでナビゲーション画面からソース画面に切り換えることができます。

→ 「ナビゲーション画面を表示する」(P38)

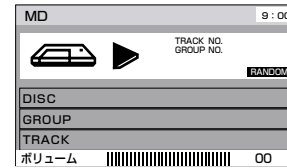


音量 / 音質の調整

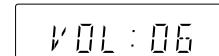
音量を調整する

1 音量つまみを回して、音量を調整する

● 画面下部に音量調整バーが表示されます。



● 音量レベルは 00 ~ 32 の範囲で調整できます。
● サブ液晶画面に「VOL」と音量レベルが表示されます。



● 音量を大きくするときは、音量つまみを時計回りに回します。
● 音量を小さくするときは、音量つまみを反時計回りに回します。

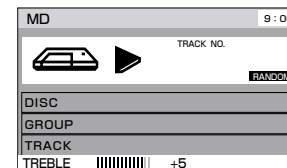
お知らせ

ナビゲーションシステムを接続してご使用になる場合、ナビゲーション本体からの誘導案内音声は、本機では音量調整できません。ナビゲーションシステムの取扱説明書「機能設定」をごらんください。

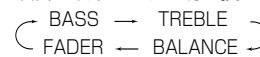
音質を調整する

1 音質ボタンを短く押して、調整する項目を選択する

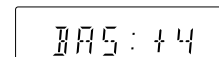
● 画面下部に音質調整バーが表示されます。



● 音質ボタンを押すたびに、調整する項目は以下のように切り換わります。



● サブ液晶画面に調整項目 (BAS・TRE・BAL・FAD) と調整レベルが表示されます。



調整項目 調整レベル

2 ◀ ボタンまたは ▶ ボタンを押して、調整する

低音 (BASS) 調整 (-7 ~ +7)

低音を強調します。

- 低音を強調させたいときは、▶ ボタンを押します。
- 低音を強調させたくないときは、◀ ボタンを押します。

高音 (TREBLE) 調整 (-7 ~ +7)

高音を強調します。

- 高音を強調させたいときは、▶ ボタンを押します。
- 高音を強調させたくないときは、◀ ボタンを押します。

バランス (BALANCE) 調整 (L9 ~ 0 ~ R9)

左右の音量を調整します。

- 右側スピーカーの音量を強調させたいときは、▶ ボタンを押します。
- 左側スピーカーの音量を強調させたいときは、◀ ボタンを押します。

フェーダー (FADER) 調整 (R9 ~ 0 ~ F9)

前後の音量を調整します。

- 前席スピーカーの音を強調させたいときは、▶ ボタンを押します。
- 後席スピーカーの音を強調させたいときは、◀ ボタンを押します。

お知らせ

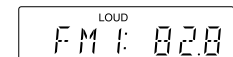
- ◎ しばらく操作しないと、調整を終了します。
- ◎ リセットした場合、調整値は初期値に戻ります。→ 「リセットについて」(P45)

音にメリハリをつける (ラウドネス)

小さな音量で聞いているときに、低音を強調して迫力のある音にすることができます。

1 音質ボタンをしばらく押す

- ラウドネス機能が「ON」になります。
- サブ液晶画面に、「LOUD」が表示されます。



お知らせ

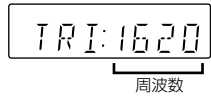
- ◎ ラウドネス機能を「OFF」にするには、もう一度音質ボタンをしばらく押します。
- ◎ 初期値は「ON」に設定されています。

交通情報を聞く

交通情報は、どのソースが選ばれていても、またソースが OFF でもダイレクトに受信できます。

1 交通情報 / 時計 (📶/🕒) ボタンを押す

- 1620kHz、1629kHzのどちらか受信できる方を自動受信します。
- サブ液晶画面に、「TRI」と周波数が表示されます。



- どちらも受信できない場合や受信状態が悪化した場合は、元のソースに戻ります。

2 受信を中止するには、もう一度交通情報 / 時計 (📶/🕒) ボタンを押す、またはソース切換ボタンを押す

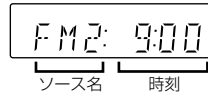
- 交通情報を受信する前のソースに戻ります。

時刻を表示する

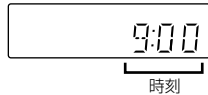
どのソースが選ばれていても、以下の操作を行うことで、サブ液晶画面に時刻を表示することができます。

1 交通情報 / 時計 (📶/🕒) ボタンをしばらく押す

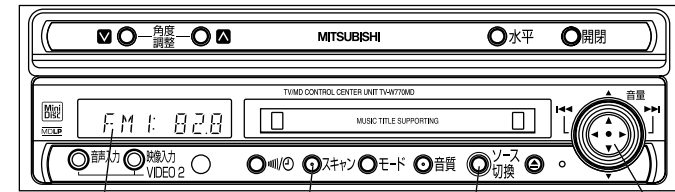
- サブ液晶画面には次のように表示されます。



- もう一度交通情報 / 時計 (📶/🕒) ボタンをしばらく押すと、受信周波数などの表示に戻ります。
- ソースが OFF の場合、サブ液晶画面には時刻のみ表示されます。



ラジオを聴く



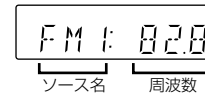
サブ液晶画面 スキャンボタン ソース切換ボタン ▼、▲、◀、▶、実行ボタン

ラジオを聴く

1 ソース切換ボタンを押して、FM1、FM2 または AM を選択する

2 ◀ ボタンまたは ▶ ボタンを押して選局する

- 低い周波数を選ぶときは、◀ ボタンを押します。
- 高い周波数を選ぶときは、▶ ボタンを押します。
- 手動選局するには、◀ ボタンまたは ▶ ボタンを短く押します。1 ステップ (FM の場合 0.1 MHz、AM の場合 9kHz) ずつ周波数が変化します。
- 自動選局するには、◀ ボタンまたは ▶ ボタンをしばらく押してから手を離します。自動選局が始まり、受信状況の良い周波数で停止します。
- サブ液晶画面に、選択したソース名と周波数が表示されます。



🗨️ お知らせ

ラジオの受信時はパワーアンテナが自動的にあがります。アンテナの高さより低い場所 (駐車場や洗車機など) へ入るときは、必ずラジオ以外のソースに切り換えるか、ソース切換ボタンをしばらく押してソースを OFF にしてアンテナが下がったことを確認してください。

放送局を登録する

放送局を自動的に登録する (オートメモリー)

1 ソース切換ボタンを押して、FM1、FM2、または AM を選択する

2 スキャンボタンをしばらく押す

- オートメモリーが実行されます。
- オートメモリー中、サブ液晶画面に A の文字が左から右に流れて表示されます。



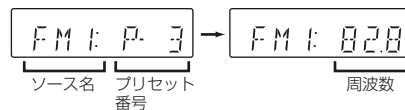
🗨️ お知らせ

- ◎ 受信状況の良い放送局が低い周波数から順番に登録されます。
- ◎ オートメモリーをキャンセルするときは、ソース切換、交通情報 / 時計 (📶/🕒)、◀、▶、▲、▼、またはスキャンボタンなどを押します。キャンセルした場合、登録されている内容は変更されません。

リモコンを使って放送局を登録（プリセット）する

- 1 [ソース切換]キーを押して、FM1、FM2、またはAMを選択する
- 2 登録したい放送局を選局する
- 3 [1]～[9]の登録したいキーをしばらく押す

- サブ液晶画面に、選択したソース名とプリセット番号が表示されたあと、周波数が表示されます。



登録された放送局の呼び出ししかた

1局ずつ順に呼び出すには

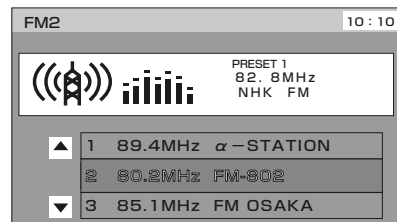
- 1 ソース切換ボタンを押して、FM1、FM2、またはAMを選択する
- 2 ▲ボタンまたは▼ボタンを押して、登録された放送局を順に呼び出す
 - 次の放送局を呼び出すときは、▲ボタンを押します。
 - 前の放送局を呼び出すときは、▼ボタンを押します。

スキャン機能を使用して呼び出すには

- 1 ソース切換ボタンを押して、FM1、FM2、またはAMを選択する
- 2 ▲ボタンまたは▼ボタンを押して、登録された放送局を呼び出す
- 3 スキャンボタンを押す
 - スキャンが開始され、次の放送局を5秒間受信したあと、繰り返しスキャンを行います。
 - 登録された放送局を選択していない場合、プリセット1からスキャンを行います。
- 4 受信したい放送局が選局されたら、もう一度スキャンボタンを押す
 - ソース切換、交通情報/時計ボタン(🔊/🕒)、⏮、⏭、▲、▼、またはスキャンボタンなどを押しても、スキャンを終了します。

リスト画面から呼び出すには

- 1 ソース切換ボタンを押して、FM1、FM2、またはAMを選択する
- 2 AV表示ボタンをしばらく押す
 - モニターにリスト画面が表示されます。

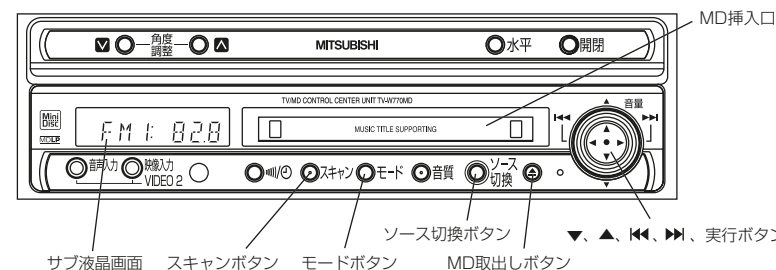


- 3 ▲ボタンまたは▼ボタンを押して、登録された放送局を選択する
 - 次の放送局を選択するときは、▼ボタンを押します。
 - 前の放送局を選択するときは、▲ボタンを押します。
- 4 実行ボタンを押して、登録された放送局を呼び出す

リモコンを使って放送局を呼び出す

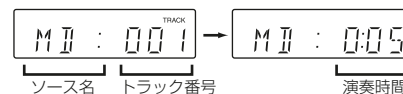
- 1 [ソース切換]キーを押して、FM1、FM2、またはAMを選択する
- 2 [1]～[9]キーを押して、登録された放送局を呼び出す

MDを聴く



MDを再生する

- 1 MD挿入口にMDディスクが入っていないかを確認するためMD取出しボタンを押す
 - MDディスクが入っている状態で無理にMDディスクを挿入すると、故障の原因となることがあります。
- 2 MD挿入口にMDディスクのラベル面を上にし、向きを確認して、MDディスクを挿入する
 - MDディスクが最後まで挿入されるように、指で押し込んでください。
 - 自動的に再生が始まります。
 - MDディスクがすでに挿入されている場合は、ソース切換ボタンを押して、MDを選択します。
 - サブ液晶画面には次のように表示されます。



お知らせ

MD挿入口にはMDディスク以外の物を入れないでください。故障の原因になることがあります。

- 3 ⏮ボタンまたは⏭ボタンを押して聴きたい曲を選ぶ
 - 前の曲を選ぶときは、⏮ボタンを押します。
 - 次の曲を選ぶときは、⏭ボタンを押します。
 - 早戻しするときは、⏮ボタンをしばらく押し続けます。
 - 早送りするときは、⏭ボタンをしばらく押し続けます。

MDの再生を終了する

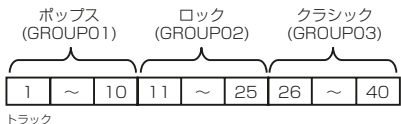
- 1 MD取出しボタンを押して、MDディスクを取り出す
 - MDディスクを挿入したまま、他のソースに切り換えたり、ソースをOFFにすることもできます。
 - リモコンの再生/一時停止キーを押すと、再生を一時的に停止することができます。もう一度再生/一時停止キーを押すと再生が始まります。

グループ設定された MD を再生する

グループ機能について

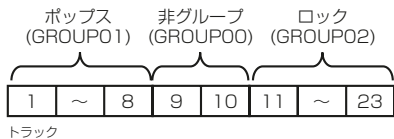
本機はグループ設定されている MD ディスクを再生できます。MDLP モードなどで録音して曲数が増えてしまったときに、MD レコーダでアーティストやジャンルごとにグループ分けすることにより、選曲が簡単になります。

ジャンルごとにグループ分けした MD ディスクの場合 (MD ディスク内に3グループ、40曲ある場合)



※ジャンルごとに選択ができるので曲選びに便利です。

- 本機能は MD 再生のみご利用になれます。グループ設定については、ご使用される MD レコーダの取扱説明書をごらんください。
- グループ設定されていない (非グループ) トラックが設定されている MD ディスクの場合、非グループトラックは自動的に「GROUP00」に割り当てられます。



トラック

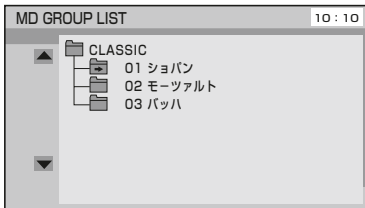
※非グループトラックは、自動的に作成される GROUP00 に割り当てられます。

グループ設定された MD の再生のしかた

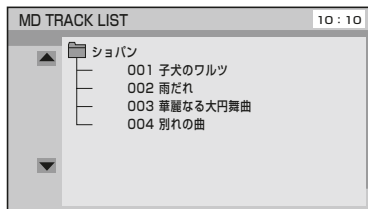
- 1 MD 挿入口にグループ設定された MD ディスクを挿入する
- 2 ▲ボタンまたは▼ボタンを押して、聞きたい曲が入っているグループを選ぶ
 - 前のグループを選ぶときは、▼ボタンを押します。
 - 次のグループを選ぶときは、▲ボタンを押します。

リスト画面を使って選曲する

- 1 MD 挿入口に MD ディスクを挿入する
- 2 AV 表示ボタンをしばらく押す
 - グループリスト画面が表示されます。
 - グループ設定されていない MD ディスクの場合、グループリスト画面は表示されません。操作 5 に進んでください。



- 3 ▲ボタンまたは▼ボタンを押して、グループを選択する
- 4 ▶ボタンを押す
 - トラックリスト画面が表示されます。



- 5 ▲ボタンまたは▼ボタンを押して、曲 (トラック) を選択する
- 6 実行ボタンを押す
 - 選択した曲 (トラック) の再生を開始します。
 - グループ設定されている MD ディスクの場合、◀ボタンを押すと、グループリスト画面に戻ります。
 - もう一度 AV 表示ボタンをしばらく押すと、リスト画面から通常画面に戻ります。

MD のいろいろな再生について

再生モードの選択

- 1 モードボタンを数回押す
 - モードボタンを押すたびに、再生モードは以下のように切り換わります。
通常再生 (グループランダム) → トラックリピート (ディスクランダム → グループリピート)

お知らせ
グループリピート、グループランダムはグループ設定されている MD の場合のみ選択できます。

トラックリピート

- 1 モードボタンを数回押して、トラックリピートモードに切り換える
 - サブ液晶画面に「T-RP」と表示されたあと、「RPT」が点灯します。(モニター上には「T-REPEAT」が表示されます。)

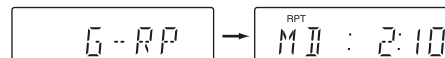


トラックリピートモードになり、解除されるまで、再生している曲 (トラック) を繰り返し再生します。

お知らせ
モードボタン、スキャンボタン、MD 取出しボタン、◀▶、▲または▼ボタンを押すと、トラックリピートモードが解除されます。

グループリピート

- 1 モードボタンを数回押してグループリピートモードに切り換える
 - サブ液晶画面に「G-RP」と表示されたあと、「RPT」が点灯します。(モニター上には「G-REPEAT」が表示されます。)



グループリピートモードになり、解除されるまで、再生している曲 (トラック) を繰り返し再生します。

お知らせ
モードボタン、スキャンボタン、または MD 取出しボタンを押すと、グループリピートモードが解除されます。

ディスクランダム

- 1 モードボタンを数回押して、ディスクランダムモードに切り換える
 - サブ液晶画面に「D-RD」と表示されたあと、「RDM」が点灯します。(モニター上には「RANDOM」が表示されます。)

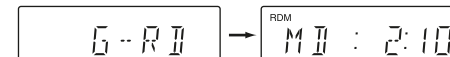


ディスクランダムモードになり、解除されるまでディスク全体からランダムに曲 (トラック) を選択し再生します。

お知らせ
モードボタン、スキャンボタン、または MD 取出しボタンを押すと、ディスクランダムモードが解除されます。

グループランダム

- 1 モードボタンを数回押して、グループランダムモードに切り換える
 - サブ液晶画面に「G-RD」と表示されたあと、「RDM」が点灯します。(モニター上には「G-RANDOM」が表示されます。)



グループランダムモードになり、解除されるまでグループ内でランダムに曲 (トラック) を選択し再生します。

お知らせ
モードボタン、スキャンボタン、または MD 取出しボタンを押すと、グループランダムモードが解除されます。

ディスクスキャン

1 スキャンボタンを押す

再生中の次の曲(トラック)からスキャンを開始し、ディスク内の曲(トラック)を10秒ずつ再生します。

- スキャン中はサブ液晶画面の“SCAN”が点灯し、再生中のトラック No. が点滅します。(モニター上では“SCAN”が点滅します。)



- もう一度スキャンボタンを押すとディスクスキャンは終了し、再生している曲から通常再生を開始します。
- 全てのトラックのスキャンが終わると、スキャン開始曲(トラック)から通常再生を始めます。

お知らせ

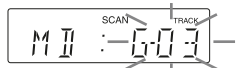
モード、◀◀、▶▶ ボタンのいずれかを押したり、ACC OFF の操作を行った場合にも、ディスクスキャンは終了します。

グループスキャン

1 スキャンボタンをしばらく押す

再生中の次のグループからスキャンを開始し、グループごとの先頭の曲(トラック)を順に呼び出し、10秒ずつ再生します。

- スキャン中はサブ液晶画面の“SCAN”が点灯し、再生中のグループ No. が点滅します。(モニター上では“G-SCAN”が点滅します。)

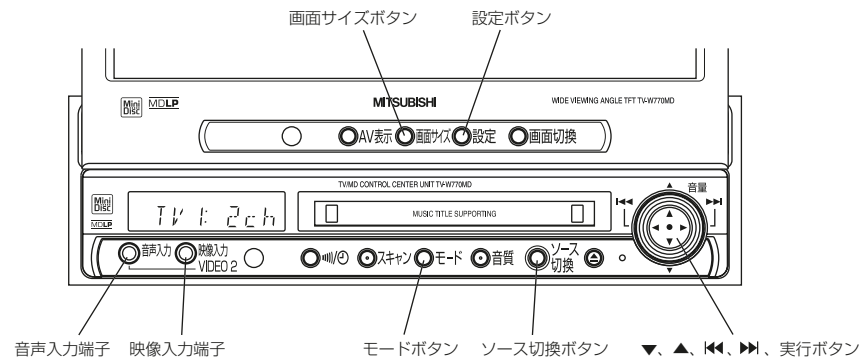


- もう一度スキャンボタンを押すとグループスキャンは終了し、再生している曲のグループを通常再生します。
- 全てのグループのスキャンが終わると、スキャン開始グループの最初の曲(トラック)から通常再生を始めます。

お知らせ

- ◎ モード、◀◀、▶▶ ボタンのいずれかを押したり、ACC OFF の操作を行った場合にも、グループスキャンは終了します。
- ◎ GROUPO0 に割り当てられた曲(トラック)は、スキャンの対象となりません。

テレビ / ビデオを見る



テレビ / ビデオを見る

1 ソース切換ボタンを押して、TV1 または TV2 を選択する

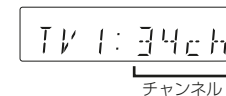
お知らせ

- ◎ ナビゲーション画面表示中に TV1 または TV2 を選択すると、音声のみ TV1 または TV2 に切り換わります。
- ◎ 走行中は、テレビの映像を見ることはできません。(チャンネル選局、音声を聞くことはできません。)

2 ◀◀ ボタンまたは ▶▶ ボタンを押して選局する

- 前のチャンネルを選ぶときは、◀◀ ボタンを押します。
- 次のチャンネルを選ぶときは、▶▶ ボタンを押します。
- 手動選局するには、◀◀ ボタンまたは ▶▶ ボタンを短く押します。1チャンネルずつ放送局が変化します。
- 自動選局するには、◀◀ ボタンまたは ▶▶ ボタンをしばらく押します。自動選局が始まり、受信状況の良い放送局のところで停止します。

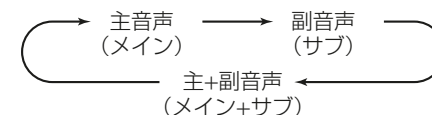
- サブ液晶画面には次のように表示されます。



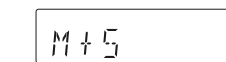
音声多重チャンネルの音声を切り換える

1 テレビ受信中にモードボタンを押して、音声モードを選択する

- モードボタンを押すたびに、音声モードは以下のように切り換わります。



- サブ液晶画面には次のように表示されます。



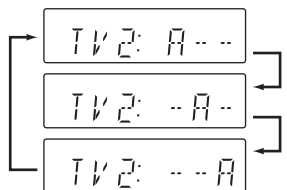
例) 主 + 副音声 (メイン + サブ) の場合 (モニター上には“主 + 副”と表示されます。)

テレビ / ビデオを見る

放送局を登録する

放送局を自動的に登録する (オートメモリー)

- 1 ソース切換ボタンを押して、TV1 または TV2 を選択する
- 2 スキャンボタンをしばらく押す
 - オートメモリーが実行されます。
 - オートメモリー中、サブ液晶画面に A の文字が左から右に流れて表示されます。

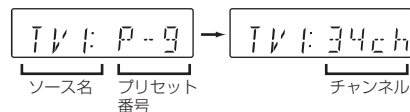


お知らせ

- ◎ 受信状況の良い周波数の放送局が、低い周波数から順番に登録されます。
- ◎ オートメモリーをキャンセルするときは、ソース切換、交通情報 / 時計 (📶/🕒)、⏪、⏩、▲、▼ ボタン、またはスキャンボタンなどを押します。キャンセルした場合、登録されている内容は変更されません。

リモコンを使って放送局を登録 (プリセット) する

- 1 [ソース切換] キーを押して、TV1 または TV2 を選択する
- 2 登録したい放送局を選局する
- 3 [1] ~ [9] の登録したいキーをしばらく押す
 - サブ液晶画面に、選択したソース名とプリセット番号が表示されたあと、チャンネル No. が表示されます。



登録された放送局の呼び出し方

1 局ずつ順に呼び出すには

- 1 ソース切換ボタンを押して、TV1 または TV2 を選択する
- 2 ▲ボタンまたは▼ボタンを押して、登録された放送局を順に呼び出す
 - 次のプリセットされた放送局を呼び出すときは、▲ボタンを押します。
 - 前のプリセットされた放送局を呼び出すときは、▼ボタンを押します。

スキャン機能を使用して呼び出すには

- 1 ソース切換ボタンを押して、TV1 または TV2 を選択する
- 2 ▲ボタンまたは▼ボタンを押して、登録された放送局を呼び出す
- 3 スキャンボタンを押す
 - スキャンが開始され、次の放送局を5秒間受信し、繰り返しスキャンを行います。
 - 登録された放送局を選択していない場合、プリセット1からスキャンを行います。
- 4 受信したい放送局が選局されたら、もう一度スキャンボタンを押す
 - ソース切換、交通情報 / 時計 (📶/🕒)、⏪、⏩、▼、▲、またはスキャンボタンのいずれかを押しても、スキャンは終了します。

リスト画面から呼び出すには

- 1 ソース切換ボタンを押して、TV1 または TV2 を選択する
 - モニターにリスト画面が表示されます。
- 2 AV表示ボタンをしばらく押す



- 3 ▲ボタンまたは▼ボタンを押して、登録された放送局を選択する
 - 次の放送局を選択するときは、▼ボタンを押します。
 - 前の放送局を選択するときは、▲ボタンを押します。
- 4 実行ボタンを押して、選択された放送局を呼び出す。

リモコンを使って放送局を呼び出す

- 1 [ソース切換] キーを押して、TV1 または TV2 を選択する
- 2 [1] ~ [9] キーを押して、登録された放送局を呼び出す

ビデオ映像の見かた

パネル面または背面の映像端子（および音声端子）に VTR 機器を接続しておくと、本機のモニターで VTR 機器の映像を見ることができます。接続について詳しくは、別冊の取付要領書をごらんください。

お知らせ

映像端子からの映像を見るには、あらかじめ機能設定画面の“Video1 外部入力”または“Video2 外部入力”の設定が“ON”になっている必要があります。

→「Video1/2 外部入力」(P40)

1 パネル面あるいは背面の映像端子（および音声端子）に VTR 機器を接続する

2 ソース切換ボタンを押して、VIDEO1 または VIDEO2 を選択する

- 背面の映像端子に接続されたビデオ映像を見るときは、VIDEO1 を選択します。
- パネル面の映像端子に接続されたビデオ映像を見るときは、VIDEO2 を選択します。
- サブ液晶画面に選択したソース名が表示されます。

VIDEO2

例) VIDEO2 を選択した場合

お知らせ

◎ナビゲーション画面表示中に VIDEO1 または VIDEO2 を選択すると、音声のみが切り換わります。

◎走行中はビデオの映像を見ることはできません。（音声を聞くことはできます。）

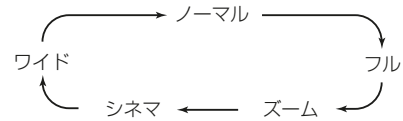
画面サイズ (モード) を切り換える

本機は 5 種類の画面モードを用意しています。映像の内容により画面モードを適宜切り換えてご使用ください。

1 ソース切換ボタンを押して、TV1、TV2、VIDEO1 または VIDEO2 を選択する

2 画面サイズボタンを押して、画面モードを選択する

- 画面サイズボタンを押すと、画面モードは以下のように切り換わります。



	<ノーマル> 通常画面の映像 (縦横比 4:3) を表示します。
	<フル> 通常の映像を画面全体に拡大して表示します。
	<ズーム> 通常の映像を画面全体に (上下左右に) 拡大して表示します。ただし、映像の上下が欠ける場合があります。
	<シネマ> 字幕入りの映像を画面全体に見やすく拡大して表示します。
	<ワイド> 画面の中心部より横方向に徐々に拡大して画面幅全体に表示します。

お知らせ

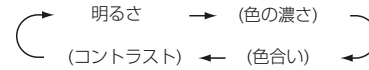
◎テレビ番組などソフトの映像比率の異なるモードを選択すると、オリジナルの映像と違った見えかたになります。この点に留意して画面モードを選択してください。

◎本機を営利目的または公衆に視聴させることを目的として使用する場合、画面モードの切り換え機能により画面の圧縮、引き延ばしなどを行うと、著作権上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますのでご注意ください。

画質を調整する

1 設定ボタンを押して調整する項目を選択する

- 設定ボタンを押すと、調整項目は以下のように切り換わります。



- () の調整項目は、TV1、TV2、VIDEO1、VIDEO2、DVD 再生時以外、および走行中は調整できません。

2 ◀ボタンまた▶ボタンを押して、調整する

- しばらく操作しないと、調整を終了します。

明るさ調整 (- 30 ~ 0)

画面の明るさを調整します。

- 画面を明るくしたいときは、▶ボタンを押します。
- 画面を暗くしたいときは、◀ボタンを押します。

色の濃さ調整 (- 15 ~ + 15)

画面の色の濃さを調整します。

- 画面の色を濃くしたいときは、▶ボタンを押します。
- 画面の色を淡くしたいときは、◀ボタンを押します。

色合い調整 (G15 ~ 0 ~ R15)

画面の色合いを調整します。

- 画面を赤味がかった色にしたいときは、▶ボタンを押します。
- 画面を緑がかった色にしたいときは、◀ボタンを押します。

コントラスト調整 (- 15 ~ + 15)

画面のメリハリを調整します。

- 画面のメリハリを強くしたいときは、▶ボタンを押します。
- 画面のメリハリを抑えたいときは、◀ボタンを押します。

お知らせ

◎“オートディマー”の設定が“ON”のときは、明るさ調整はできません。

携帯オーディオの音楽を聴く

携帯オーディオの音楽を聴くには

パネル面の音声入力端子に携帯オーディオ (iPod など) を接続すると、本機に接続したスピーカーで音楽を聴くことができます。

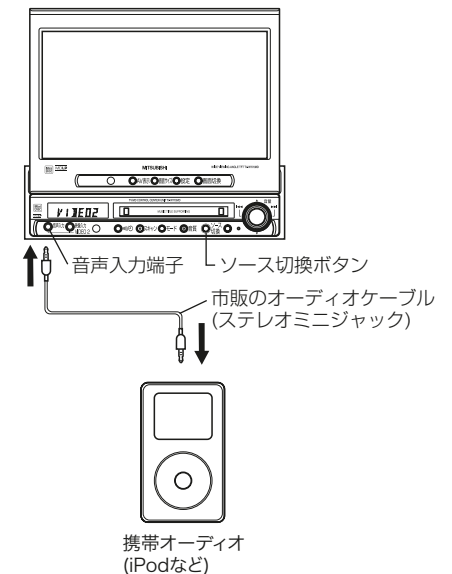
1 パネル面の音声入力端子に携帯オーディオ (iPod など) を接続する

2 ソース切換ボタンを押して、VIDEO2 を選択する

お知らせ

VIDEO2 のみ、初期設定で BASS:+1、TREBLE:+1 に設定されています。

- iPod は著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- iPod は米国およびその他の国で登録されている Apple Computer, Inc. の商標です。



テレビ/ビデオ
を見る

携帯オーディオ
の音楽を聴く

ナビゲーションの操作

ナビゲーション画面を表示する

1 ソース画面表示中に画面切替ボタンを押す

- ナビゲーション画面が表示されます。もう一度押すと、ソース画面に戻ります。

お知らせ

- ◎ ナビゲーション画面に現在選択中のソース情報を表示することができます。
→ 「AV 情報表示」(P40)

ソース名、周波数などソース機能が表示されます。



ナビゲーションの案内音声について

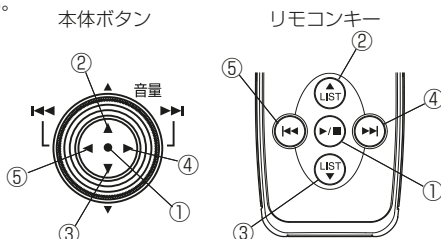
お知らせ

- ◎ システム設定画面の“NAVIガイド”の設定を“MUTE”にしておくと、ナビゲーションの誘導音声出力中、ソースの音がミュートされます。(フロント右側スピーカーのみ)
→ 「NAVIガイド」(P41)

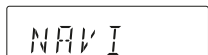
ナビゲーションのAV操作について

- 本機のジョイスティックを使ってナビゲーションのAV (CD/DVD、ミュージックフォルダ) を操作することができます。操作方法については、以下の本体のボタンとリモコンキーの対応表、およびナビゲーションの取扱説明書をごらんください。

	本体のボタン	リモコンキー
①	実行	▶/■
②	▲	▲ LIST
③	▼	▼ LIST
④	▶▶	▶▶
⑤	◀◀	◀◀



- ナビゲーションのAV再生中は、サブ液晶画面には「NAVI」と表示されます。



その他の機能

バックカメラの映像について

カメラ映像入力端子にバックカメラを接続しておくと、シフトレバーをR (リバース)にしたときに自動的にバックカメラの映像に切り換えることができます。

- R (リバース)にしたときに自動的にバックカメラの映像に切り換えるには、あらかじめモニタ設定画面の“バック連動”の設定が“連動”になっている必要があります。
→ 「バック連動」(P42)
- 接続について詳しくは、別冊の取付要領書をごらんください。

バックカメラ映像の見かた

1 シフトレバーをR (リバース)にする

- モニターの映像が自動的にバックカメラの映像に切りかわります。

後席モニターの映像について

本機の映像出力端子 (後席モニター用映像出力端子) にモニターを接続しておくと、後席でもナビゲーション画面やテレビ画面を見ることができます。表示される映像については、以下の表をごらんください。

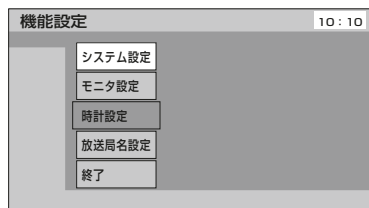
後席画面	前席画面	本機	ナビゲーション機器
黒画面	OFF	OFF	OFF
地図	地図		地図
Audio	Audio		Audio (CD/MP3/MF)
DVD	DVD		DVD再生
黒画面	TUNER	TUNER	OFF
地図	地図⇔TUNER		地図
Audioまたは地図(後押し優先)	AudioまたはTUNER(後押し優先)		Audio (CD/MP3/MF)
DVDまたはTUNER(後押し優先)	DVDまたはTUNER(後押し優先)		DVD再生
TV	TV(規制)	TV(走行中)	OFF
TV	地図⇔TV(規制)		地図
AudioまたはTV(後押し優先)	AudioまたはTV(規制)(後押し優先)		Audio (CD/MP3/MF)
DVDまたはTV(後押し優先)	DVDまたはTV(規制)(後押し優先)		DVD再生
TV	TV	TV(停車中)	OFF
TV	地図⇔TV		地図
AudioまたはTV(後押し優先)	AudioまたはTV(後押し優先)		Audio (CD/MP3/MF)
DVDまたはTV(後押し優先)	DVDまたはTV(後押し優先)		DVD再生
黒画面	MD	MD	OFF
地図	地図⇔MD		地図
Audioまたは地図(後押し優先)	AudioまたはMD(後押し優先)		Audio (CD/MP3/MF)
DVDまたは地図(後押し優先)	DVDまたはMD(後押し優先)		DVD再生

各種設定

機能設定画面を表示する

1 設定ボタンをしばらく押す

- 機能設定画面が表示されます。



🔍お知らせ

- ◎ 走行中は機能設定画面は表示されません。安全な場所に停車して操作を行ってください。
- ◎ 終了するときは、▼ボタンを押して“終了”を選択し、実行ボタンを押します。
(操作後、約 10 秒で元の画面に戻ります。)
- ◎ 設定ボタンをしばらく押しても、元の画面に戻ります。

システム設定

システム設定のしかた

1 機能設定画面を表示する

2 ▲ボタンまたは▼ボタンを押して、“システム設定”を選択する

3 実行ボタンを押す

- システム設定画面が表示されます。



4 ▲ボタンまたは▼ボタンを押して、項目を選択する

5 ◀ボタンまたは▶ボタンを押して、設定を変更する

🔍お知らせ

- ◎ 終了するときは、▼ボタンを押して“終了”を選択し、実行ボタンを押します。
(操作後、約 10 秒で元の画面に戻ります。)

NAVI ガイド

“MUTE”を選択すると、誘導音声出力時にフロント右側スピーカーのソース音声を消音した状態で誘導音声を出力します。
“MIX”を選択すると、フロント右側スピーカーのソース音声に誘導音声をミックスして出力します。

操作音

“ON”を選択すると、操作時に操作音（ビープ音）を鳴らします。

🔍お知らせ

- ◎ ボリューム操作時および有効でないボタンを押した場合、操作音は鳴りません。

ボタン照明

“ACC 連動”を選択すると、車両の ACC ON によりボタン照明が点灯します。
“ILL 連動”を選択すると、車両のイルミネーションに連動してボタン照明が点灯します。

Video1/2 外部入力

接続している VTR 機器、携帯オーディオ機器などの映像（音声）の ON/OFF を選択します。

Video1 外部入力

VIDEO1 映像（音声）入力端子からの映像（または音声）の ON/OFF を選択することができます。

Video2 外部入力

VIDEO2 映像（音声）入力端子からの映像（または音声）の ON/OFF を選択することができます。

AV 情報表示

“ON”を選択すると、ナビゲーション画面を表示しているときに、画面上部に現在選択しているソースについての情報（ソース名、受信周波数など）を表示します。

モニタ設定

モニタ設定のしかた

- 1 機能設定画面を表示する
- 2 ▲ボタンまたは▼ボタンを押して、“モニタ設定”を選択する
- 3 実行ボタンを押す
 - モニタ設定画面が表示されます。



- 4 ▲ボタンまたは▼ボタンを押して、項目を選択する
- 5 ◀ボタンまたは▶ボタンを押して、設定を変更する

お知らせ
 ◎終了するときは、▼ボタンを押して“終了”を選択し、実行ボタンを押します。
 (操作後、約10秒で元の画面に戻ります。)

オートディマー

“ON”を選択すると、周囲の明るさに応じてディスプレイの明るさを自動的に調整します。

お知らせ
 ◎“ON”を選択すると、画質調整メニューの明るさ調整はできなくなります。

イルミ連動

“連動”を選択すると、車両のイルミネーションに連動してディスプレイの明るさを変更します。

お知らせ
 ◎明るさ調整では、昼間の明るさと夜間の明るさを個別に設定できます。

バック連動

“連動”を選択すると、車両のリバーシ信号に連動してバックカメラ入力映像に切り換わります。

オートオープン/クローズ

“AUTO”を選択すると、イグニッションキーをONまたはACCにしたときにモニターを自動的に立ち上げ、イグニッションキーをOFFにしたときにモニターを自動的に収納できます。

“MANUAL”を選択すると、モニターを手動で(開閉ボタンを押して)立ち上げることができます。

セットバック

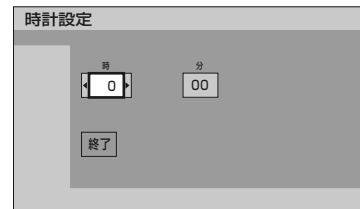
“ON”を選択すると、モニター部を立ち上げたあと、モニターを自動的に後ろに下げることができます。

時計設定

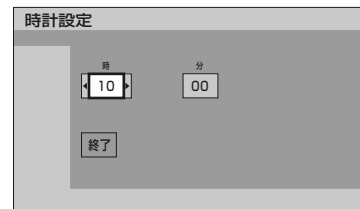
- 1 機能設定画面を表示する
- 2 ▲ボタンまたは▼ボタンを押して、“時計設定”を選択する

お知らせ
 ナビゲーションシステムと接続しているときは、時計設定が選択できません。時計情報は自動的にナビゲーションシステムより取り込まれます。

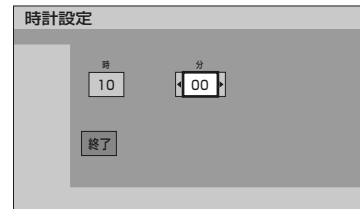
- 3 実行ボタンを押す
 - 時計設定画面が表示されます。



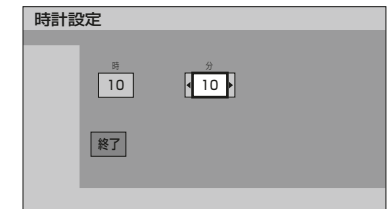
- 4 ◀ボタンまたは▶ボタンを押して、“時”を変更する



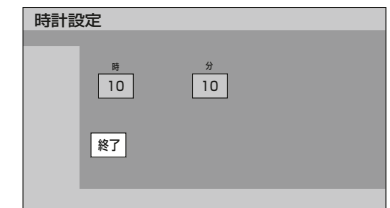
- 5 ▼ボタンを押して、“分”を選択する



- 6 ◀ボタンまたは▶ボタンを押して、“分”を変更する



- 7 ▼ボタンを押して、“終了”を選択する



- 8 実行ボタンを押す(実行ボタンが押されたから、0秒スタートとなります。)

● 時計設定画面が消えます。

放送局名変更（受信チャンネル変更）

- 1 機能設定画面を表示する
- 2 ▲ボタンまたは▼ボタンを押して、“放送局名設定”を選択する
- 3 実行ボタンを押す
 - 放送局名設定画面が表示されます。



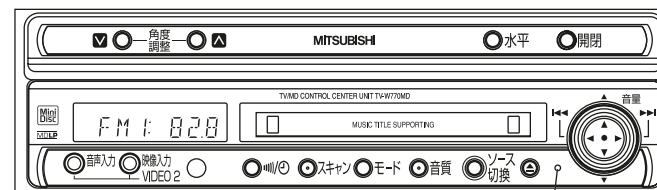
- 4 ▲ボタンまたは▼ボタンを押して、受信チャンネルを変更する放送局名を選択する
- 5 ◀ボタンまたは▶ボタンを押して、CH(変更)のチャンネルを変更する



- 6 実行ボタンを押す
 - CH(現在)のチャンネルが変更されます。
 - 終了するときは、▼ボタンを押して“終了”を選択し、実行ボタンを押します。

ご参考までに

リセットについて



リセットボタン

リセットについて

次のようなときは、本機をリセットしてください。

- 接続が終わったあと
- 正しく動作しなくなったとき
- 画面およびサブ液晶画面が正しく表示されなくなったとき

リセットのしかた

- 1 ボールペンの先などでリセットボタンを押す

- モニター部が自動的に収納および立ち上げ動作をします。(収納状態で押したときは、立ち上げ動作のみ)

お知らせ

◎ 収納に支障が無いが確認してからリセットボタンを押してください。

リセットされる項目

本機をリセットすると初期設定にリセットされます。

<システム設定>

項目	リセット後の設定値
VIDEO1 外部入力	ON
VIDEO2 外部入力	ON
AV 情報表示	OFF
NAVI ガイド	MUTE
操作音	ON
ボタン照明	ACC 連動


<モニタ設定>

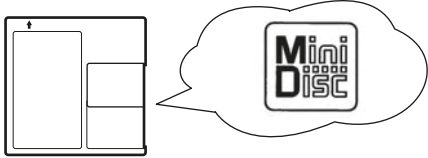
項目	リセット後の設定値
オートディマー	OFF
イルミ連動	連動
バック連動	連動
オープン/クローズ	AUTO
セットバック	OFF

- | | | |
|---|-----------------------|---------|
| <時計設定> | <音質設定> | <画面サイズ> |
| 0:00 | BASS:0 (VIDEO2のみ+1) | ワイド |
| <画質設定> | TREBLE:0 (VIDEO2のみ+1) | |
| 明るさ:0 (MAX 値) | BALANCE:0 | |
| 色濃さ:0 | FADER:0 | |
| 色合い:0 | ラウドネス:ON | |
| コントラスト:0 | <音量設定> | |
| <TV プリセット設定> | VOLUME:11 | |
| P1:1ch, P2:2ch, P3:3ch, P4:4ch, P5:5ch, P6:6ch, P7:7ch, P8:8ch, P9:9ch, | | |
| <FM プリセット設定> | | |
| P1:76.0MHz, P2:78.0MHz, P3:80.0MHz, P4:81.0MHz, P5:83.0MHz, | | |
| P6:85.0MHz, P7:87.0MHz, P8:89.0MHz, P9:90.0MHz | | |
| <AM プリセット設定> | | |
| P1:522kHz, P2:639kHz, P3:756kHz, P4:1107kHz, P5:1206kHz, | | |
| P6:1305kHz, P7:1404kHz, P8:1512kHz, P9:1629kHz | | |

MD ディスクの取り扱いについて

使用できる MD ディスクについて

-  マークの付いた MD ディスクをお使いください。

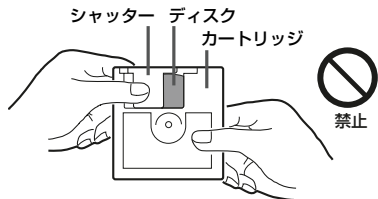


- 長時間録音 (MD-LP) されている MD ディスクも再生できます。
- 音楽以外の MD ディスクは使用しないでください。故障の原因になります。

取扱上のご注意

- MD のディスク自体はカートリッジに収納されているため、ゴミや指紋を気にせずに手軽に扱えます。ただし、カートリッジの汚れやそり、破損などで故障の原因となることがありますので、次の点にご注意ください。

- カートリッジのシャッターを開けて、ディスクに直接手を触れないでください。ディスクが汚れると、再生/録音ができなくなることがあります。また、無理にあけるとこわれます。



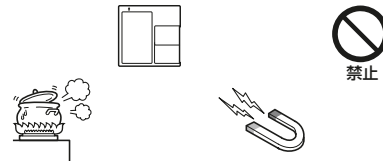
ラベルについて

- MD ディスクに付属のラベルは、必ず指定の位置に貼ってください。指定以外の位置に貼ったり、2 枚重ねて貼ったりすると、MD ディスクが取り出せなくなることがあります。
- ラベルがめくれたり、浮いたりした MD ディスクは使用しないでください。ラベルが引っかかり、MD ディスクが取り出せなくなります。このような MD ディスクは新しいラベルに貼り替えてからお使いください。

MD ディスクの保管

- 使わないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。
- 次のような場所を避けて、保管してください。

- 直射日光の当たるところ
- 高温になるところ (炎天下の閉めきった自動車内など)
- 湿気やほこりの多いところ
- 磁気のあるところ (テレビの上やスピーカーの近くなど)
- カビの発生しやすいところ



お手入れについて

- MD ディスクのカートリッジ表面が汚れたときは、柔らかいきれいな布で軽く拭いてください。
- MD ディスクにベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。
- MD ディスク用クリーニングディスクを使用するときは、クリーニングディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。クリーニングディスクによっては製品の故障の原因になる場合があります。

寒いときの結露について

- 寒いとき、ヒーターを入れた直後に MD ディスクの再生を始めると、本機内部のレンズや MD ディスクに露が付いて、正常な再生ができないことがあります。このようなときは、1 時間ほど放置して自然に露が取れるまでお待ちください。MD ディスクのカートリッジ表面に付いた露は柔らかい布で拭いてください。

故障かな?と思ったら

	症状	原因	処置	参照ページ
接続時	電源が入らない	電源コードの接続不良	「取付要領書」に従って、正しく配線してください	別冊
		車のバッテリーがあがっている ヒューズが切れている	バッテリーを確認してください	別冊
			ヒューズが切れた原因を解決し、切れたヒューズと同じ容量のヒューズと交換してください	別冊
共通操作時	画像が出ない	自動車が走行中である	安全な場所に車を停車し、パーキングブレーキを引いてごらんください	-
		表示したいソースになっていない	ソースを切り換えてください	P24
		操作ボタンまたはリモコンのボタンを押していない	本説明書をごらんになり、操作してください	-
	画像が明るいまたは暗い	車内の温度が低い	ヒーターで車内の温度を上げてください	-
		明るさの調節が不適當	本説明書をごらんになり、操作してください	P37
	画像の色合いが悪い	色合いの調節が不適當		P37
	音が悪い (歪む)	音量を上げすぎている		P25
	音が出ない	音量が最小になっている		P25
		ラジオの周波数と本機設定周波数が合っていない	周波数を合わせてください	P27、P34
	ナビゲーションの音声案内、操作音がスピーカーから出ない	リアスピーカーが接続されていない	ナビゲーションシステムの音声案内や操作音はフロントスピーカーからしか出力されません。2 スピーカーシステム車では、フロントスピーカー出力に接続してください	別冊
画面にナビゲーションの画像が映らない	画面表示がナビゲーション画面に切り換わっていない	画面表示をナビゲーション画面に切り換えてください	P38	
	ナビゲーションが正しく接続されていない	ナビゲーションの接続を確認してください	-	
バックカメラに切り換わらない	「モニタ設定」の「バック連動」の設定を「連動」に設定していない	「モニタ設定」の「バック連動」の設定を「連動」に設定してください	P42	
	バック (リバース) 信号が接続されていない	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください	-	
時計表示がおかしい	ナビゲーション機器の GPS が受信できていない	GPS が受信できる場所に移動してください	-	
ナビゲーションの音楽 (ミュージックフォルダー/CD/DVD) がフロント右側のスピーカーからしか聞こえない	ナビゲーション機器の音声出力先設定 (AV の設定→モニタ選択「Audio 一体型」) ができていない	ナビゲーションの設定で「モード」→「機能設定」→「AV の設定」→「モニタ選択」を選択し、「Audio 一体型モニタ」を選択します。詳しくはナビゲーションの取扱説明書をご参照ください	別冊	

	症状	原因	処置	参照ページ
ラジオ受信時	受信できない 雑音が多い	放送局の周波数に合っていない	正しいチャンネルに合わせてください	P27
		電波状態が悪く受信できない	正常に電波が受信できる場所に車を移動してください	—
		ネオンサイン、高圧線、アマチュア無線、他の自動車からの影響		
		アンテナが伸びていない	モーターアンテナの入力端子をパワーアンテナリード線に接続してください	別冊
	他の搭載機器から妨害電波を受けている	お互いの配線をなるべく離してください	別冊	
自動選局ボタンを押しても選局しない	強い電波の放送局がない	手動で選局してください	P27	
MD操作時	MD再生中に、大きな雑音が出る MDディスクの再生が途中で止まる MDディスクが自動的に出てくる	MDディスクが極端に汚れている	MDディスクを交換してください	P46
		MDディスクの曇りまたはMDディスクに水滴が付いている		
		録音されていないMDディスクを挿入した		
	MDディスクが正しい向きに挿入されていない	MDディスクを取り出して正しい向きに挿入してください	P29	
MD取出しボタンを押してもMDディスクが取り出せない	故障です。	販売店にご相談ください	—	
テレビ受信時	受信できない	アンテナコードの接続不良	「取付要領書」に従って、正しく配線してください	別冊
	映りが悪い 雑音が出る	放送局の周波数に合っていない	正しいチャンネルに合わせてください	P33
	自動選局ボタンを押しても選局しない	山間部、高層ビル街などで電波状態が悪く受信できない	正常に電波が受信できる場所に車を移動してください	—
	画像にはん点やしま模様が出る	ネオンサイン、高圧線、アマチュア無線、または他の自動車からの影響		
	他の搭載機器から妨害電波を受けている	お互いの配線をなるべく離してください	別冊	
	画像が二重三重になる	近くの山やビルで電波が反射している	アンテナの位置、方向、高さを調節してください。または、他の場所に車を移動させてください	別冊
	画像に色がつかない 画像が不鮮明	白黒の番組を受信している 電波が弱い、または受信中の放送局のエリアから外れている	他の放送局に切り換えて確認してください	— P33
映像が粗く表示される	画面モードの設定が「シネマ」または「ズーム」になっている	画面特有の現象で、故障ではありません	P37	

	症状	原因	処置	参照ページ
リモコン操作時	リモコン操作を受け付け ない	電池が入っていない	電池を入れてください	P16
		電池の入れ方が間違っている	正しく電池を入れ直してください	P16
		電池が消耗している	新しい電池に交換してください	P16
		リモコン信号受信部に向けて操作していない	正しく操作してください	P21
		リモコン信号受光部またはリモコン信号送信部が汚れている	清掃してください	—
		リモコン信号受光部に直射日光が当たっている	直射日光をささぎってください	—
		ドラコンの取付位置が適切でない	取付位置を調整してください	—

索引

索引

用語索引では、使用したい機能をすばやく見つけるために、各機能のキーワードだけを記載しています。他のページにも下記の言葉が記載されていることがあります。

アルファベット	
AV 情報表示.....	38, 40
BALANCE 調整.....	25
BASS 調整.....	25
FADER 調整.....	25
MD ディスクの取扱い.....	46
MD を聴く.....	29
NAVI ガイド.....	38, 41
TREBLE 調整.....	25
Video1 外部入力.....	36, 40
Video2 外部入力.....	36, 37, 40
ア行	
明るさ調整.....	37
アフターサービス.....	53
イルミ連動.....	42
色合い調整.....	37
色の濃さ調整.....	37
オートオープン/クローズ.....	14, 42
オートディマー.....	42
音質調整.....	25
音量調整.....	25
カ行	
各部の名称とはたらき	
モニター部収納状態.....	10
モニター部立ち上げ状態.....	12
リモコンキー.....	18
画質調整.....	37
画面サイズ.....	36
機能設定画面.....	40
グループ機能.....	30
グループスキップ.....	32
グループランダム.....	31
グループリピート.....	31
携帯オーディオ.....	37
高音 (TREBLE) 調整.....	25
後席モニターの映像.....	39
交通情報.....	26
故障かな?と思ったら.....	47
ご注意とお願い.....	8
コントラスト調整.....	37
サ行	
再生モードの選択.....	31
時刻表示.....	26
システム設定.....	40
受信チャンネルの変更.....	44
セットバック.....	42
ソースの切り換え.....	24
操作音.....	41
操作・機能一覧.....	22, 23
タ行	
低音 (BASS) 調整.....	25
定格.....	51
ディスクスキャン.....	32
ディスクランダム.....	31
テレビを見る.....	33
時計設定.....	43
時計表示.....	26
ドライビングリモコン.....	16, 17
トラックリピート.....	31
ナ行	
ナビシステムの AV 操作.....	38
ナビゲーションの設定について.....	24
ハ行	
バックカメラ.....	39
バック連動.....	42
バック連動の設定.....	39
ビデオを見る.....	33
プリセット登録	
テレビ.....	34
ラジオ.....	28
放送局を登録	
テレビ.....	34
ラジオ.....	27
放送局の呼び出し	
テレビ.....	35
ラジオ.....	28
放送局名の変更.....	44
保証書について.....	53
ボタン照明.....	41
マ行	
モニター部	
一時的に手前に倒す.....	15
角度調整.....	14
自動的に後ろに下げる.....	15
収納.....	14
立ち上げ.....	14
モニター設定.....	42
ラ行	
ラウドネス.....	25
ラジオを聴く.....	27
リセット.....	45
リモコンについて.....	16, 18
リモコンキーの名称とはたらき.....	18

定格・保証

定格

● 本機の仕様および外観は、改良のために予告なく変更することがあります。

共通部	電源電圧	DC12V (10.8 ~ 15.6V が使用可)
	最大消費電流	10A
受信機部	外形寸法	178(W) X 50(H) X 165(D) mm
	質量	約 2.2kg (接続コード類含まず)
MDプレーヤー部	使用温度範囲	-10℃ ~ 55℃
	● AM チューナー部	
受信機部	受信周波数範囲	522 ~ 1,629kHz
	実用感度 (S/N : 20dB)	30dBuV
	S/N	40dB 以上
	実効選択度 (± 9kHz)	50dB 以上
	● FM チューナー部	
	受信周波数範囲	76.0 ~ 90.0MHz
	実用感度 (S/N : 30dB)	10dBf
	S/N	50dB 以上
	周波数特性	30 ~ 12,000Hz ± 3dB
	ステレオセパレーション	40dB 以上 (65dBf 入力 1kHz)
	● TV チューナー部	
	アンテナ選択	4ch ダイバーシティ方式
アンテナインピーダンス	75 Ω 不平衡	
受信チャンネル範囲	1 ~ 12 チャンネル (VHF 部), 13 ~ 62 チャンネル (UHF 部)	
音声実用感度 (S/N : 30dB)	20dBuV	
音声 S/N	45dB 以上	
映像 S/N	40dB 以上	
周波数特性	30 ~ 12,000Hz ± 3dB	
MDプレーヤー部	形式	ミニディスクデジタルオーディオシステム
	周波数特性	20 ~ 20,000Hz ± 2dB
	S/N	90dB 以上 (IHF-A)
	高調波ひずみ率	0.01%
	ダイナミックレンジ	80dB
	チャンネルセパレーション	90dB
D/A 方式	1bit D/A 方式	

モニター部	画面サイズ	対角 18cm(7 インチワイドディスプレイ)
	駆動方式	TFT アクティブマトリックス方式
	液晶	透過型 IPS 方式フルカラー液晶パネル
	バックライト	冷陰極管エッジライト方式
	有効表示領域	154.08mm × 87.05mm
	有効画素数	336、960 ドット (水平 1440 × 垂直 234)
	視野範囲	(コントラスト比 ≥ 10) 上/下 : 85/85 (度) 左/右 : 85/85 (度)
	表面処理	AG+LR コート

その他	●外部入力部	
	映像入力レベル	1Vp-p/75 Ω
	最大音声入力レベル	0.5Vrms/22k Ω
	●外部映像出力部	
	映像出力レベル	1Vp-p/75 Ω
	●カメラ入力部	
	映像入力レベル	1Vp-p/75 Ω
	●オーディオ部	
	トーンコントロール	100Hz ± 12dB 10kHz ± 12dB
	ラウドネスコンター	100Hz +12dB (VOL. ステップ 1 ~ 22)
最大出力	45W × 4ch	
定格出力	19W × 4ch	
適合スピーカーインピーダンス	公称 4 Ω	

保証について

保証書について

- この製品には保証書が添付されています。
- 所定事項の記入<販売店印><お買い上げ日>および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管ください。
- 万一故障した場合の無償修理期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

- 調子が悪いときは、まずこの取扱説明書をもう一度ごらんになってお調べください。

保証期間中の修理は →保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。

保証期間経過後の修理は →修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。

- アフターサービス（修理や付属品のご購入）に関するお問い合わせは、お買い上げ店、別紙の地区別サービス店ならびに代理店相談窓口へご相談ください。

お問い合わせ先 **三菱電機カーインフォメーションセンター**

フリーダイヤル **0120-182710** (土・日・祝祭日は除く /9:00 ~ 17:30)

※当社カーナビの機能や操作に関することなら何でもお問い合わせください。

※カタログの送付希望も受け付けております。

MEMO